

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
クリエイションワーク1		金久保 雅人	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
クリエイション①授業を通し物作りに必要な（創造・発想）とは何かを学ぶ基礎練習を学んで行きましょう、			
学習到達目標			
クリエイション1の授業・課題製作を通して課題に製作に対しての自己の表現に対して、作品に対してのこだわりとは何か、人に対して何を伝えたいのか探して行きましょう			
学習上の助言			
各課題に対して、学生の皆さんは自分が製作に必要な資料は事前に準備を心掛けて行きましょう！この授業は当日からの準備では課題製作に遅れがでますので「プロへの自覚を持つ事を心掛けましょう」			
教科書及び教材			
デザイン製作に必要な（着彩道具・ハサミ・のり・カッター・定規等）その他デザイン練習用のA4コピー用紙・課題製作用のボード用紙・デザイン資料（雑誌・写真等）			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	クリエイション①基礎編	授業ガイダンス・授業講義・自由課題製作・課題製作準備の説明	
2	クリエイション①基礎編	デザイン製作（静物からのデザイン転換）	
3	クリエイション①基礎編	デザイン製作（静物からのデザイン転換）	
4	クリエイション①基礎編	デザイン製作と課題発表（プレゼンテーション練習）	
5	クリエイション②基礎編	デザイン製作（動植物からのデザイン転換）	
6	クリエイション②基礎編	デザイン製作（動植物からのデザイン転換）	
7	クリエイション②基礎編	デザイン製作（動植物からのデザイン転換）	
8	クリエイション②基礎編	デザイン製作と課題発表（公開プレゼンテーション）	
成績評価の目安と方法			
各制作課題の提出期限の厳守（期限遅れは減点対象になります）、授業への取り組む姿勢・制作への自己のこだわり、プレゼンテーションに於ける自己の考えの整理・自己表現への努力の姿勢			
評価	成績評価別の到達度		
A	課題製作の期限内に提出・課題への理解度の高さ・発表内容の深さ		
B	課題への理解度の高さ・発表内容の深さ・発表がある程度理解出来ている		
C	課題への理解度の高さ・発表内容の深さ・発表がある一部理解出来ている		
D	課題提出の未提出・授業への制作意欲が見られない。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
クリエイションワーク 2		金久保 雅人	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
クリエイション①授業を通し物作りに必要な（創造・発想）とは何かを学ぶ基礎練習を学んで行きましょう、			
学習到達目標			
一年間のクリエイション授業（創造・創作練習）を通して自己の物作りに必要な物とは何かを理解し、製作に対しての時間の経過、物へのこだわりとは何かを学んで下さい。			
学習上の助言			
各製作課題の事前説明を致しますので、資料・画材・プレゼン用のボード（紙等）の準備をお願い致します。（授業の説明を必ずメモ出来るノートは必要になります。）			
教科書及び教材			
A4サイズコピー用紙・ハサミ・カッター・のり・着彩道具（マーカー・色鉛筆・パステル等）＋ファッション雑誌等、自己の作品制作に必要なと思われる道具・資料一式			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	クリエイション③基礎編	デザイン応用編（情報の収集・古今のデザイン研究からの転換）	
2	クリエイション③基礎編	デザイン応用編（情報の収集・古今のデザイン研究からの転換）	
3	クリエイション③基礎編	デザイン応用編（情報の収集・古今のデザイン研究からの転換）	
4	クリエイション③基礎編	デザイン応用編（情報の収集・古今のデザイン研究からの転換）制作発表	
5	クリエイション④基礎編	デザイン応用編（情報の収集・現代のデザイン研究からの転換）	
6	クリエイション④基礎編	デザイン応用編（情報の収集・現代のデザイン研究からの転換）	
7	クリエイション④基礎編	デザイン応用編（情報の収集・現代のデザイン研究からの転換）	
8	クリエイション④基礎編	デザイン応用編（情報の収集・現代のデザイン研究からの転換）制作発表	
成績評価の目安と方法			
各制作課題の提出期限の厳守（期限遅れは減点対象になります）、授業への取り組む姿勢・制作への自己のこだわり、プレゼンテーションに於ける自己の考えの整理・自己表現への努力の姿勢			
評価	成績評価別の到達度		
A	課題製作の期限内に提出・課題への理解度の高さ・発表内容の深さ		
B	課題への理解度の高さ・発表内容の深さ・発表がある程度理解出来ている		
C	課題への理解度の高さ・発表内容の深さ・発表がある一部理解出来ている		
D	課題提出の未提出・授業への制作意欲が見られない。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
クリエイションワーク 3		金久保 雅人	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
<p>クリエイション ①②（基礎編）を通して応用編として最終課題製作になります。自分が表現したいデザインを考えだし、資料の収集・デザイン展開・構成を整理してプレゼンボードを制作する。</p>			
学習到達目標			
<p>一年間のクリエイション授業（創造・創作練習）を通して自己の物作りに必要な物とは何かを理解し、製作に対しての時間の経過、物へのこだわりとは何かを学んで下さい。</p>			
学習上の助言			
<p>各製作課題の事前説明を致しますので、資料・画材・プレゼン用のボード（紙等）の準備をお願い致します。（授業の説明を必ずメモ出来るノートは必要になります。）</p>			
教科書及び教材			
<p>A4サイズコピー用紙・ハサミ・カッター・のり・着彩道具（マーカー・色鉛筆・パステル等）＋ファッション雑誌等、自己の作品制作に必要なと思われる道具・資料一式</p>			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	クリエイションワーク応用編	トータルデザインプロジェクト・テーマ設定の構築	
2	クリエイションワーク応用編	トータルデザインプロジェクト・制作進行	
3	クリエイションワーク応用編	トータルデザインプロジェクト・制作進行	
4	クリエイションワーク応用編	トータルデザインプロジェクト・制作進行	
5	クリエイションワーク応用編	トータルデザインプロジェクト・制作進行	
6	クリエイションワーク応用編	トータルデザインプロジェクト・制作進行	
7	クリエイションワーク応用編	ポートフォリオ講義・練習	
8	クリエイションワーク応用編	トータルデザインプロジェクト・制作発表	
成績評価の目安と方法			
<p>①各時間の製作への取り組み、②自己の表現に必要な資料収集、③プレゼンテーションに於いての自己の製作に対する表現方法・デザインポイントなどが整理・説明に加えられているかが評価ポイントになります。製作提出の期限の厳守（提出の遅れは成績の減点対象になります）</p>			
評価	成績評価別の到達度		
A	課題提出に期限内の提出・課題提出に対する理解度・発表内容の整理と内容の深さ		
B	課題製作への取り組み・理解度・発表内容が理解出来ている		
C	課題製作への取り組み・理解度・発表内容が一部出来ている		
D	課題の未提出・発表の不参加・授業への取り組み・意欲が感じられない		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンメイキング1		室谷 浩子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
スカート原型の製図法とデザインスカートの展開方法を学ぶ			
学習到達目標			
『スカート』の種類と基本的な展開方法を理解する			
学習上の助言			
製図用具を使いこなし『製図をする』事に慣れましょう			
教科書及び教材			
ノート・A4ファイル・50cm・30cm方眼定規・縮尺定規・カーブルーラー・プッシュピン・カッター・メンディングテープ・メジャー・0.3シャープペンシル・色ペン(2~3色)・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	パターン概論	ファッションの定義・既製服と注文服・パタンナーの役割・用具の説明	
2	製図練習・スカート原型	直線(平行と垂直)・曲線練習・体型・サイズについて・ラインポイントの名称・原型について	
3	スカート原型	スカート原型(1/2)の製図・採寸について	
4	スカート原型	スカート原型(原寸)の製図・トワル裁断・ベルトパターン	
5	スカート原型	スカート原型(原寸)のトワル組み立て(ミシン縫い)・トワルチェック	
6	デザインスカートの展開	スカートの歴史と種類・セミタイト・Aライン(1/2)の展開	
7	デザインスカートの展開	フレアー・ギャザー・ギャザーフレアー・ゴアード(1/2)の展開	
8	デザインスカートの展開	プリーツの種類・プリーツ・ペグトップ(1/2)の展開・筆記テスト	
成績評価の目安と方法			
出席状況・課題提出状況・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	スカートの種類と展開方法を良く理解し、的確に表現できる		
B	スカートの種類と展開方法を理解し、表現できる		
C	スカートの種類と展開方法いくつかは理解し、表現できる		
D	スカートの種類と展開方法の理解が不足している		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンメイキング2		室谷 浩子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
トルソー原型の考え方と展開方法・衿・袖の考え方と展開方法を学ぶ			
学習到達目標			
『ブラウス』の原型を理解し、基本的な展開が出来る			
学習上の助言			
トップスの基本となるブラウスをしっかり勉強しましょう			
教科書及び教材			
ノート・A4ファイル・50cm・30cm方眼定規・縮尺定規・カーブルーラー・プッシュピン・コンパス・カッター・メンディングテープ・メジャー・0.3シャープペンシル・色ペン（2～3色）・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	トルソー原型	トルソー原型の考え方・トルソー原型（1/2）（原寸）の製図	
2	トルソー原型	トワル裁断・トワル組み立て（ミシン縫い）・トルソー原型のトワルチェック	
3	ダーツ処理	ウエスト原型（1/2）の製図・ダーツ処理（移動と分散）	
4	ブラウスの身頃展開	ストレートブラウス原型（1/2）の製図ストレートシルエットブラウス（1/2）の展開	
5	ブラウスの身頃展開	ソフトシェイプシルエットブラウス（1/2）の展開	
6	袖原型	袖の考え方・袖の目（AH図法）の引き方・一枚袖（1/2）の製図	
7	袖の展開	タイトスリーブ（1/2）・パフスリーブ（1/2）	
8	衿の製図	シャツカラー・台衿付きシャツカラー・フラットカラー・セーラーカラー・筆記テスト	
成績評価の目安と方法			
出席状況・課題提出状況・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	ブラウスのシルエット・袖・衿の構造を良く理解し、的確に表現できる		
B	ブラウスのシルエット・袖・衿の構造を理解し、表現できる		
C	ブラウスのシルエット・袖・衿の構造がある程度理解できている		
D	ブラウスのシルエット・袖・衿の構造の理解が不足している		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンメイキング3		室谷 浩子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
パンツ原型の考え方と展開方法・プリンセスワンピースの展開方法を学ぶ			
学習到達目標			
『パンツ』原型を理解し、基本的な展開ができる。『プリンセスワンピース』の展開ができる			
学習上の助言			
難しいアイテム『パンツ』がわかるとデザインに幅が出来ます			
教科書及び教材			
ノート・A4ファイル・50cm・30cm方眼定規・縮尺定規・カーブルーラー・プッシュピン・コンパス・カッター・メンディングテープ・メジャー・0.3シャープペンシル・色ペン（2～3色）・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	パンツ原型	バランスパンツ原型（1/2）の製図・ツータックパンツ（1/4）の製図	
2	パンツのシルエット1	パンツのパーツパターン製作・スリムパンツ（1/4）製図	
3	パンツのシルエット2	カーブベルト・パーツパターン・ベルボトム（1/4）・ワイドパンツ（1/4）	
4	プリンセスワンピース	ドレス原型の種類と考え方・プリンセスドレス原型（1/2）製図	
5	プリンセスワンピース	プリンセスワンピース①（1/2）製図 ノースリーブの考え方	
6	プリンセスワンピース	プリンセスワンピース②③（1/2）製図 ノーカーラー（3種）の考え方	
7	応用デザインワンピース	応用デザインワンピース（1/2）製図・トワル裁断・トワル組み立て（手縫い）	
8	応用デザインワンピース	応用デザインワンピース（1/2）トワルチェック 筆記テスト	
成績評価の目安と方法			
出席状況・課題提出状況・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	パンツの種類と展開方法・ワンピースの構造を良く理解し的確に表現できる		
B	パンツの種類と展開方法・ワンピースの構造を理解し表現できる		
C	パンツの種類と展開方法・ワンピースの構造をある程度理解できている		
D	パンツの種類と展開方法・ワンピースの構造の理解が不足している		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンメイキング4		室谷 浩子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	2
授業概要			
ジャケットのゆとりの考え方、テーラードジャケットのディテールの理解・裏地などの展開方法を学ぶ			
学習到達目標			
『テーラードジャケット』を理解して、正しく製図ができる			
学習上の助言			
『ジャケット』を制する者はパターンを制する・・・はずです			
教科書及び教材			
ノート・A4ファイル・50cm・30cm方眼定規・縮尺定規・カーブルーラー・プッシュピン・コンパス・カッター・メンディングテープ・メジャー・0.3シャープペンシル・色ペン（2～3色）・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ジャケット原型	ジャケットについて・身頃構成・ディテール・ジャケット原型（1/2）製図	
2	ジャケット原型	シルエット別ジャケット原型（1/2）	
3	ジャケット原型	シルエット別ジャケット原型（1/2）	
4	テーラードカラー	テーラードカラーの種類、製図（1/2）	
5	二枚袖	袖の目（基本製図）／二枚袖の製図（1/2）	
6	ジャケット展開	4面構成（1/2）	
7	ジャケット展開	3面構成（1/2）	
8	ジャケット展開	袖製図（二枚袖）（1/2）	
9	工業用パターン	表衿・見返しのパターン展開（1/2）	
10	工業用パターン	裏地パターンの展開（1/2）	
11	工業用パターン	ポケットのパターン（1/2）	
12	工業用パターン	書き込み・縫い代付け（1/2）・筆記テスト	
13	デザインブラウスの展開	ギャザーブラウスの展開（1/2）	
14	デザインブラウスの展開	Aラインブラウスの展開（1/2）	
15	デザインブラウスの展開	衿・袖（1/2）	
成績評価の目安と方法			
出席状況・課題提出状況・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	テーラードジャケットを良く理解し、正しく展開し的確に表現できる		
B	テーラードジャケットを理解し展開し表現できる		
C	テーラードジャケットを理解し展開できる		
D	テーラードジャケットの理解度が不足している		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンメイキング5		松山 由未	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	2
授業概要			
「ブラウス」「スカート」のパターン復習と応用デザインのパターン			
学習到達目標			
パターンメイキングに関する基礎知識・基本技術の修得			
学習上の助言			
2年次の課題に向かったの総復習です。疑問点を解決して自信につなげましょう。			
教科書及び教材			
パターンメイキング技術検定3級ガイドブック、パターン用具一式、A4ポケットファイル			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	既製服の基礎知識	パターン用語、JIS規格サイズと体型、トルソー、原型、立体的裁断と平面製図	
2	パターンメイキングの基礎知識	ダーツの移動と展開1	
3	パターンメイキングの基礎知識	ダーツの移動と展開2	
4	フラットパターンメイキング	身頃の展開ブラウス1	
5	フラットパターンメイキング	身頃の展開ブラウス2	
6	フラットパターンメイキング	基本袖と展開	
7	フラットパターンメイキング	ネックラインと衿	
8	サンプルメイキング	トワル裁断とピンアップ	
9	サンプルメイキング	トワルチェックと修正	
10	フラットパターンメイキング	スカートのバリエーション1	
11	フラットパターンメイキング	スカートのバリエーション2	
12	サンプルメイキング	トワル裁断とピンアップ	
13	サンプルメイキング	トワルチェックと修正	
14	フラットパターンメイキング	ラグランスリーブ	
15	フラットパターンメイキング	フード	
成績評価の目安と方法			
基礎知識と基本技術の習熟度、課題提出、受講姿勢を総合的に評価。 受講回数が2/3未満の場合もしくは理解不足と考えられる場合、再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	アイテムのシルエットと構造をよく理解し、パターンとトワルに的確に表現できる		
B	アイテムのシルエットと構造を理解し、パターンとトワルに表現できる		
C	アイテムのシルエットと構造を理解している		
D	アイテムのシルエットと構造の理解が不足している、課題の未提出、受講状況に問題がある		



2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレル技術1		箕輪 雅春	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
生地地の直しの方法から、ミシン、ロックミシン、アイロンを用いて基礎的な縫製技術を学ぶ			
学習到達目標			
基本的な縫製技術『手縫い』『ミシン縫い』『縫い代始末』などの部分縫いの習得			
学習上の助言			
使用する教材・道具を必ず準備をしておく事。授業内容などの要点をメモを取り、要点をまとめたレポートを完成させて下さい。今後の製作物に大きく影響する基本技術です。いつでも引き出せる様に取り組んで下さい。			
教科書及び教材			
アパレル技術縫製マニュアル・配布プリント・縫製道具一式・パターン用具一式			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	縫製道具の説明	使用教材道具の用途説明・シーチング地直しを学ぶ。	
2	基礎縫い《手縫い》	基本的な3種のしつけ・5種のまつり縫い・運針を学ぶ	
3	基礎縫い《ミシン1》	パターンカット・裁断・直線・角・カーブ縫いを学ぶ	
4	基礎縫い《ミシン2》	基本的な縫い代の始末（割り・片倒し・袋縫い）を学ぶ	
5	基礎縫い《ミシン3》	基本的な縫い代の始末（折り伏せ縫い・S時カーブ）	
6	基礎縫い《ミシン4》	縫い代の始末（三つ折り・完全三つ折り・ステッチ・手まつり）	
7	基礎縫い《ミシン5》	フラットニットファスナー付け・手まつり・前カン付け	
8	テスト	実技テスト	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得状況を提出物・実技テストで判定し、授業姿勢を加味して評価する。出席率60%以上を評価対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	提出物の仕上がり具合を基準に職業用ミシン・ロックミシン・アイロン操作技術・知識が習得出来ている		
B	提出物の仕上がり具合を基準に職業用ミシン・ロックミシン・アイロン操作技術・知識がある程度習得出来ている		
C	提出物の仕上がり具合を基準に職業用ミシン・ロックミシン・アイロン操作技術・知識が部分的に習得出来ている		
D	提出物の仕上がり具合を基準に職業用ミシン・ロックミシン・アイロン操作技術・知識が習得の水準を満たしていない		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレル技術2		箕輪 雅春	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
基本アイテム『スカート』の縫製を学ぶ。綿素材に対しての縫製の要点とインサイドベルト芯・ファスナー付けを学ぶ。『Tシャツ』では伸びる生地のカットと衿リブ部分の考え方を学ぶ。			
学習到達目標			
基本的なスカートの構造の理解。基本的なシルエットに対しての生地の選び方。伸びる生地の縫製の要点。			
学習上の助言			
初のアイテム製作になります。基礎縫いを活かしデザインを取り入れ完成させましょう。授業内での師範の内容をメモし、レポートにまとめましょう。			
教科書及び教材			
アパレル技術縫製マニュアル・配布プリント・パターン用具一式・縫製道具一式・筆記用具・メモ帳			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	スカート製図・展開1	デザインに合わせた製図・展開を学ぶ。	
2	ファーストパターン・トワル組み立て	パターンチェック・合印しの入れ方・ミシン縫い・ピン組み立ての要点を学ぶ。	
3	スカート工業用パターン	工業用パターンに必要なパターン記号と縫い代のつけ方を学ぶ。	
4	スカートのカット・縫製	カットから完成までの工程と要点を学ぶ。	
5			
6			
7			
8	Tシャツ製作	衿リブ部分の伸び率を考慮してのパターン製作と縫製を学ぶ。	
成績評価の目安と方法			
スカートに関する縫製技術・知識の習得と授業姿勢を加味して総合的に評価する。出席率60%以上を評価対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	製作物の仕上がり・レポートのまとめが非常に良く出来ており期限内に提出する事が出来る。		
B	製作物の仕上がり・レポートのまとめが基準値に達しており期限内に提出する事が出来る。		
C	製作物の仕上がり・レポートのまとめ基準値を下回るが期限内に提出する事が出来る。		
D	製作物の仕上がり・レポートのまとめが基準値に達しておらず、期限内に提出が出来ない。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレル技術3		箕輪 雅春	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	2
授業概要			
基本アイテム『ブラウス・パンツ』の縫製を学ぶ。薄地・中肉生地 of 効率の良い縫製手順を身につける。 ブラウス製作条件：台衿シャツカラー・肩ヨーク・長袖・剣ボロあき・カフスの仕様 パンツ製作条件：ヨーク・前ファスナーあき・カーブベルト・ポケット・パッチポケット			
学習到達目標			
ブラウス・パンツの構造理解。効率の良い縫製手順を学ぶ。製作物・レポートの期限内提出を目指します。			
学習上の助言			
中肉素材から薄地素材へ変わっていきます。パターンも縫製も複雑になりますが、楽しい要素はその分増えていきます。先入観に捉われず完成を目指しましょう。			
教科書及び教材			
アパレル技術縫製マニュアル・配布プリント・パターン用具一式・縫製道具一式・筆記用具・メモ帳			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ブラウス製作	・製作条件に沿ってデザインを入れた製図と展開方法を学ぶ。	
2		・ファーストパターンを修正し工業用パターン製作・裁断を学ぶ。	
3		・袖口あき3種の部分縫いを学ぶ。	
4		・前端の仕立て・ダーツの縫製方法・肩ヨークの縫製を学ぶ。	
5		・衿の縫製・衿付けの縫製を学ぶ。	
6		・袖口のあき製作とカフスつけの縫製を学ぶ。	
7		・袖付け・裾始末の縫製を学ぶ。	
8		・ボタンホール of 位置・ボタン付け・仕上げアイロンを学ぶ。	
9	パンツ製作	・パンツ原型からの展開・トワル組みまでを学ぶ。	
10		・工業用パターンを学ぶ。	
11		・裁断と印つけ（パッチポケット）などを学ぶ	
12		・縫い代 of 始末と脇ポケット・パッチポケット of 縫製を学ぶ	
13		・パンツ of 裁断・縫い代始末までを学ぶ。	
14		・前脇ポケット・パッチポケット・ファスナー付けを学ぶ。	
15		・ベルトループ・ベルト付け・仕上げまでを学ぶ。	
成績評価 of 目安と方法			
パンツ・ブラウスに関する縫製技術・知識 of 習得と授業姿勢を加味して総合的に評価する。出席率60%以上を評価対象とする。			
評価	成績評価別 of 到達度		
A	製作物 of 仕上がり・レポート of まとめが非常に良く出来ており期限内に提出する事が出来る。		
B	製作物 of 仕上がり・レポート of まとめが基準値に達しており期限内に提出する事が出来る。		
C	製作物 of 仕上がり・レポート of まとめ基準値を下回るが期限内に提出する事が出来る。		
D	製作物 of 仕上がり・レポート of まとめが基準値に達しておらず、期限内に提出が出来ていない。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレル技術 4		箕輪 雅春	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	2
授業概要			
基本アイテムワンピースと応用アイテムオリジナルブラウスを学ぶ。			
学習到達目標			
ワンピースでは薄く滑る素材の扱いの習得。オリジナルブラウスでは各々のデザインに合わせた縫製に合わせ、縫製工程を製作しスケジュールを組み立て製作を進め、期限内提出を目指します。			
学習上の助言			
製作物も一年間の内で後半に突入します。前期で学んだ技術や知識を応用して製作に挑みましょう。			
教科書及び教材			
アパレル技術縫製マニュアル・配布プリント・パターン用具一式・縫製道具一式・筆記用具・メモ帳			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ワンピース製作	製図展開・トワル組み・修正・工業用パターンの製作を学びます。	
2		滑る素材の裁断方法・コンシールファスナーの部分縫いを学びます。	
3		ウエストなどのくびれ大きい箇所のクセ取り・芯・テープ貼り箇所への接着。	
4		パネルライン・切り替えなどの縫製を学ぶ。	
5		コンシールファスナーの縫製方法の習得。	
6		衿・袖周りの見返しの縫製方法を学ぶ。	
7		裾上げ・スプリングホック・仕上げアイロンの習得。	
8	オリジナルブラウス製作	素材・デザイン相談・デザインに対しての製図と展開	
9		トワルを組み試着補正	
10		ファーストパターンを修正し縫製手順を考える。	
11		デザインに合わせた・縫い代付け・合印しを学ぶ。	
12		進度表に合わせた縫製	
13		進度表に合わせた縫製	
14		進度表に合わせた縫製	
15		製作物の仕上げと・仕様書・レポートを完成させる。	
成績評価の目安と方法			
ワンピース・オリジナルシャツブラウスに関する縫製技術・知識の習得と授業姿勢を加味して総合的に評価する。出席率60%以上を評価対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	製作物の仕上がり・レポートのまとめが非常に良く出来ており期限内に提出する事が出来る。		
B	製作物の仕上がり・レポートのまとめが基準値に達しており期限内に提出する事が出来る。		
C	製作物の仕上がり・レポートのまとめ基準値を下回るが期限内に提出する事が出来る。		
D	製作物の仕上がり・レポートのまとめが基準値に達しておらず、期限内に提出が出来ない。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレル技術5		室谷 浩子 ・ 箕輪 雅春	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	4
授業概要			
ジャケットの縫製を学ぶ。裏地・芯・副資材について学ぶ。			
学習到達目標			
『ジャケット』の基本的縫製の知識と技術の習得			
学習上の助言			
1年間の集大成としての作品をしっかりと作りましょう			
教科書及び教材			
パターン用具一式・縫製用具一式・ノート・筆記用具・縫製技術マニュアル			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1-2	パターンメイキング	テーラードジャケット（身頃・衿）のパターン製作	
3-4	パターンメイキング	テーラードジャケット（身頃・衿）のトワル組み立て・トワルチェック	
5-6	パターンメイキング	袖製図・袖付け・トワルチェック	
7-8	工業用パターン	表衿・見返し・裏地パターン製作	
9-10	工業用パターン	ポケットパターン・芯パターン・縫い代付け・パターンカット	
11-12	裁断	表地・裏地・芯地の裁断・印つけ	
13-14	芯テープ貼り	プレス機による芯貼り・テープ貼り・切りじつけ	
15-16	部分縫い練習	箱ポケット・フラップ付き両玉縁ポケット・片玉縁ポケットの練習	
17-18	表身頃縫製	表地縫い合わせ・ポケット作り	
19-20	裏身頃縫製	裏地縫い合わせ	
21-22	衿付け	表衿付け・裏衿付け・四つ止め	
23-24	前端・脇縫い	衿外回り～前端縫い合わせ・脇縫い	
25-26	袖作り・表袖付け	表袖・裏袖縫い合わせ・表袖付け	
27-28	裏袖付け・裾縫い	肩パット付け・裏袖付け・裾縫い	
29-30	まとめ	ボタンホール・ボタン付け・仕上げ・筆記テスト	
成績評価の目安と方法			
出席状況・テーマごとの進行チェック・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	テーラードジャケットの構造を良く理解し、効率良く、的確な縫製が出来る		
B	テーラードジャケットの構造を理解し、効率良く縫製が出来る		
C	テーラードジャケットの構造を理解し、縫製が出来る		
D	テーラードジャケットの構造の理解と縫製技術が不足している		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
立体裁断1		室谷 浩子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
立体裁断による原型の製作。スカートの立体表現。			
学習到達目標			
地の目の理解と、ピン打ちなど基本的な立体裁断技術の習得。			
学習上の助言			
上手なドレーピングは、道具（人台・布）を理解する事からです。			
教科書及び教材			
ノート・50cm・30cm方眼定規・えんぴつ（HB）・シルクピン・ピンクッション・裁ちバサミ・黒テープ・プッシュピン・ルレット・メジャー・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ドレーピングの準備	人台の取り扱い方、テープ貼り、シーチングの地の目の通し方	
2	原型のドレーピング	スカート原型のドレーピング	
3	原型のドレーピング	身頃のドレーピング	
4	原型のドレーピング	ウエスト接ぎ・印つけ・平面展開	
5	原型のドレーピング	トワル組み立て	
6	スカートのドレーピング	フレアスカートのドレーピング、平面展開	
7	スカートのドレーピング	Aラインスカートのドレーピング、平面展開	
8	スカートのドレーピング	ヨーク切り替え、ギャザーフレアスカートのトワル組み立て・筆記試験	
成績評価の目安と方法			
出席状況・テーマごとのトワル完成度・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	人台と体型を良く理解し、原型、スカートの的確な立体表現が出来る		
B	人台と体型を理解し、原型、スカートの立体表現が出来る		
C	人台と体型を理解し、原型、スカートの基本的立体裁断が出来る		
D	人台と体型の理解と、立体裁断技術が不足している		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
立体裁断2		室谷 浩子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
身頃のゆとりの入れ方の理解と、ブラウスの立体表現。			
学習到達目標			
『ブラウス』のドレーピングの基本技術の習得。			
学習上の助言			
ドレーピングに慣れるとドレーピングが楽しくなります。			
教科書及び教材			
ノート・50cm・30cm方眼定規・えんぴつ（HB）・シルクピン・ピンクッション・裁ちバサミ・黒テープ・プッシュピン・ルレット・メジャー・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ベーシックブラウス	身頃のドレーピング・印つけ・平面展開	
2	ベーシックブラウス	身頃組み立て	
3	ベーシックブラウス	袖製図・袖付け	
4	ベーシックブラウス	衿のドレーピング（シャツカラー・フラットカラー）	
5	ビスチェドレス	ビスチェの考え方・ドレーピング・印つけ	
6	ビスチェドレス	印つけ・平面展開	
7	ビスチェドレス	ビスチェ組み立て	
8	ビスチェドレス	ペッグトップスカート・筆記試験	
成績評価の目安と方法			
出席状況・各テーマごとのトワル完成度・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	体型を良く理解し、ブラウスの的確な立体表現が出来る		
B	体型を理解し、ブラウスの立体表現が出来る		
C	体型を理解し、ブラウスの基本的立体裁断が出来る		
D	体型の理解と、ブラウスの立体裁断技術が不足している		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザイン画 1		大谷 順	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
アパレル業界におけるデザイン画の重要性を理解して、様々な現場で活用できるよう、デザイン画の基本を学習する。各アイテムのオリジナルデザインを描く。			
学習到達目標			
ファッション画の基本的プロポーション、8頭身ポーズが描けるようになる。 基本的なファッションアイテムを描けるようになる。			
学習上の助言			
ファッション画の基本的プロポーション、8頭身ポーズが描けるようになる。 基本的なファッションアイテムを描けるようになる。			
教科書及び教材			
ファッション画の基本的プロポーション、8頭身ポーズが描けるようになる。 基本的なファッションアイテムを描けるようになる。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ガイダンス 8頭身直立ヌードを描く	クロッキーで描くことに慣れる。教科書を見ながら基本的な8頭身ヌードを描く。	
2	ポーズヌードを描く	教科書の写真のポーズヌードを8頭身で描く。	
3	手、脚、顔を描く。 スカートの基本1	手、脚、顔を描く練習をする。平面図を理解しスカートを描く。	
4	基本画材の説明。 スカートの基本2	基本的な画材を理解し練習する。スカートの基本的な描き方を練習する。	
5	シャツ・ブラウスの基本	シャツ・ブラウスの概論。基本的なシャツ・ブラウスを描き、ペン入れ、着色する。	
6	パンツの基本 1	パンツの概論。基本的なパンツを新しいヌードに着せて描き、着色する。基本的なパンツを新しいヌードに着せて描き、着色する。	
7	パンツの基本 2	ジーパンを新しいヌードに着せて描き、着色する。	
8	平面図	平面図の使い方を理解し、これまでに練習したアイテムを平面図に描く。	
成績評価の目安と方法			
知識・技術習得60% 出席率30% 受講姿勢10% アイテムの基本的な知識と、描き方の技術習得及び、オリジナリティーのあるデザインを評価の対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を深く理解し、オリジナリティーのあるデザインを描いた。		
B	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を理解し、服の構造を理解したデザインを描いた。		
C	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を理解した。		
D	未提出の課題がある。各アイテムの描き方の理解度が低い。		



2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザイン画2		大谷 順	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
アパレル業界におけるデザイン画の重要性を理解して、様々な現場で活用できるよう、デザイン画の基本を学習する。各アイテムのオリジナルデザインを描く。			
学習到達目標			
ファッション画の基本的プロポーション、8頭身ポーズが描けるようになる。 基本的なファッションアイテムを描けるようになる。			
学習上の助言			
デザイン画で1番大切なのは自分のデザインが見るひとに伝わることです。そのための基本的な描き方を学びましょう。なんでも訊いてください。			
教科書及び教材			
教科書 筆記用具 方眼定規 クロッキー帳 デザインパッド ピグマペン コピック 色鉛筆その他画材			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ワンピースの基本 1	ワンピースの概論。 基本的なワンピースを描き着色する。	
2	ワンピースの基本 2	パステルの使い方の基本。 ワンピースのオリジナルデザインを描く。	
3	ジャケットの基本 1 斜めヌード	ノッチドラペルジャケットを描く。 斜めからのポーズにジャケットを着せて描く。	
4	ジャケットの基本 2 柄素材の描き方	ピークドラペルジャケットを描く。	
5	コートの基本 1	ピーコートとAラインコートを描く。	
6	コートの基本 2	トレンチコートを描く。デザイン画に陰影をつけて立体感を出す練習。	
7	写真をデザイン画にする。	4種類の素材感を描く練習。	
8	素材の練習 素材からの発想	自由な頭身で描く。4つの素材感から選び、オリジナルデザインを描く。	
成績評価の目安と方法			
知識・技術習得60% 出席率30% 受講姿勢10% アイテムの基本的な知識と、描き方の技術習得及び、オリジナリティーのあるデザインを評価の対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を深く理解し、オリジナリティーのあるデザインを描いた。		
B	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を理解し、服の構造を理解したデザインを描いた。		
C	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を理解した。		
D	未提出の課題がある。各アイテムの描き方の理解度が低い。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリングマップ1		染谷 明る実	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
スタイリングマップジュニアレベル 基礎の習得			
学習到達目標			
ジュニア検定合格			
学習上の助言			
テイスト分析のキーワードを覚える事で、基本的な分析方法を身につけられる			
教科書及び教材			
スタイリングマップ検定テキスト			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	スタイリングマップとは、色とは	スタイリングマップの習得で得られること、色の成り立ち、セルフチェック	
2	色の分析分類	色の分析分類キーワード、カラーカード	
3	物の色の分析分類	カラーカード、色アイテム切り抜き	
4	物の形の分析分類	形の分析分類キーワード、形カルタ	
5	物の形の分析分類	形カルタ 形アイテム切り抜き	
6	物の素材の分析分類	物の素材の分析分類キーワード、素材カルタ	
7	物の素材の分析分類	素材カルタ 素材アイテム切り抜き	
8	人の色の分析分類	人の色の分析分類キーワード、人の分析目視、カラーウィッグ基本3色 ノーマイク参加	
9	ウィッグによる人の分析	カラーウィッグ体験、グループワーク ノーマイク参加	
10	人の形の分析分類	人の形の分析分類キーワード、目視	
11	人の素材の分析分類	人の質感の分析分類、目視	
12	タレント分析	タレント分析検証	
13	まとめ	物、人の分析分類総おさらい キーワード確認	
14	検定対策	検定重要ポイントを伝える または、小テスト	
15	検定対策	検定対策問題集おさらい	
成績評価の目安と方法			
ワークシート、小テスト、授業態度で習得度、理解度をチェック			
評価	成績評価別の到達度		
A	物、人のテイスト分析が出来、キーワードを使った解説が出来る。		
B	物のテイスト分析が出来、キーワードを使った解説が出来る。		
C	物のテイスト分析は出来るが、キーワードを使った解説が出来ない。		
D	物のテイスト分析が出来ず、テイストキーワードも覚えていない		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションマテリアル1		吉井 たか子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
服飾のマテリアル（素材）を総合的に学びます。			
学習到達目標			
素材に関する知識習得			
学習上の助言			
理論だけでなく、素材のテクスチャーの感触を実感し、それを表現できる言葉も学びましょう			
教科書及び教材			
服地のわかる事典・ファッションビジネス [1] ・授業時配布資料・生地サンプル			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	アパレルと素材	アパレル素材とは	
2	繊維	繊維の分類について 天然繊維と化学繊維	
3	三原組織	織物の構造・組織	
4	編地	編地の分類と名称	
5	織物服地	主要織物の名称と風合い・材質感	
6	//	//	
7	//	//	
8	//	//	
9	//	//	
10	//	//	
11	//	//	
12	染色・仕上げ・加工	仕上げ・加工の種類染色の工程・種類	
13	織柄・プリント	織柄の名称 プリント柄の名称	
14	筆記試験		
15	まとめ		
成績評価の目安と方法			
服地の基礎知識（名称・分類等）の理解度・授業姿勢			
評価	成績評価別の到達度		
A	服地の基礎知識を良く理解し、ベーシックな素材の特徴を表現できる		
B	服地の基礎知識を理解し、ベーシックな素材の特徴を表現できる		
C	服地の基礎知識を理解している		
D	服地の基礎知識の理解が不足している		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションビジネス1 (FB知識)		奈良 将之	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
ファッションビジネス検定3級合格を目指します。ファッションビジネスとは繊維製品に新しいデザインが表現するスタイルや、イメージなどの付加価値を付けて、生産・流通させ、市場で消費者の感性に訴え、共感を得てファッションを創り出し、成果を得る手段をいいます。授業を通しアパレル業界全体の仕組みを包括、基礎から理解します。			
学習到達目標			
ファッション業界に必要な基礎用語や知識の習得、FB検定試験3級合格			
学習上の助言			
アパレル業界で即戦力として幅広く活躍出来るように知識を身につけましょう。			
教科書及び教材			
ファッションビジネス能力検定試験3級準拠 ファッション辞典			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ファッション・ビジネスの概要	ファッションビジネスの概要 繊維ファッション産業の流れ	
2	ファッション消費と消費者行動	ファッション消費と消費者行動 ライフスタイルとファッション お客様の購買行動	
3	アパレル産業と小売業1	アパレル産業の概要 ファッション小売業の概要	
4	アパレル産業と小売業2		
5	マーケティング1	マーケティングの基礎知識 マーケティング上の分類方法 市場調査の基礎知識	
6	マーケティング2		
7	マーチャンドライジング1	マーチャンドライジング基礎知識 商品企画・生産・販売の流れ 売場商品構成の基礎知識	
8	マーチャンドライジング2		
9	ファッション流通1	流通 ファッション小売企業の仕組みと業務	
10	ファッション流通2		
11	ビジネス基礎知識1	会社に関する基礎知識 企業の組織 企業会計 係数知識	
12	ビジネス基礎知識2		
13	模擬試験	実際の検定試験を意識して前年度検定試験と同じ様式にて実施	
14	模擬試験 解答・解説	模擬試験を通じ出題傾向と対策を考えます。	
15	CSの重要性	お客様に満足して頂ける販売。顧客満足度について学びます。	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率、ファッションビジネス能力検定3級試験結果を総合的に評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	ファッションビジネス、造形とも3級の知識を十分に身につけている。		
B	ファッションビジネス、造形とも3級の知識をおおまかに身につけている。		
C	ファッションビジネス、造形とも3級の知識を最低限身につけている。		
D	特定の知識習得が出来ていない		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションビジネス1 (FB造形)		高橋 怜那 ・ 鈴木 あかり	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
ファッションビジネス3級合格を目指します。ファッションビジネスとは繊維製品に新しいデザインが表現するスタイルや、イメージなどの付加価値を付けて、生産・流通させ、市場で消費者の感性に訴え、共感を得てファッションを創り出し、成果を得る手段をいいます。授業を通しアパレル業界全体の仕組みを包括、基礎から理解します。			
学習到達目標			
ファッション業界に必要な基礎用語や知識の習得、FB検定試験3級合格			
学習上の助言			
アパレル業界で即戦力として幅広く活躍できるように身につけましょう。			
教科書及び教材			
ファッションビジネス能力検定試験3級準拠 ファッション辞典			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	デザイン定義と特性	衣服の流れ	
2	ファッションスタイリング	コーディネーションの基礎知識	
3	ファッション企業のスタイリング	ファッション企業におけるスタイリングとシーズンスタイリングの理解	
4	ファッション商品知識	アパレル商品知識【服種・アイテム】	
5	ファッション商品知識	シルエットの知識・ディテールの知識	
6	ファッション商品知識	サイズの知識・繊維の知識	
7	模擬試験 解答・解説	模擬試験実施します。	
8	試験対策	模擬試験を踏まえて学習が必要な箇所を絞って講義を行います。	
成績評価の目安と方法			
知識の習得、授業姿勢、出席率、課題提出、ファッションビジネス能力検定3級試験結果を総合的に評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	ファッションビジネス造形分野において、3級の知識を十分に身につけている。		
B	ファッションビジネス造形分野において、3級の知識をおおまかに身につけている。		
C	ファッションビジネス造形分野において、3級の知識を最低限身につけている。		
D	特定の知識習得が出来ていない。		

## 2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ビジネスコミュニケーション		谷口 幸広	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
<p>昨今の社会環境が激しく変化し「正解」が見えない社会では、取り組むべき課題を自ら設定し、常識にとらわれず新しい可能性を貪欲に追求する人材が求められている。</p> <p>授業ではシミュレーションゲーム教材を使ったグループワークでPDCAに取り組み、実社会で役立つビジネスコミュニケーションのスキルアップを図る。中でも情報活用スキルを駆使した企画の立案、プレゼン&amp;質疑応答の修得に注力し自己実現を図る。</p>			
学習到達目標			
<p>ビジネスモデルを素材にシミュレーション&amp;ディスカッション、プレゼンテーション&amp;質疑応答に取り組み、自分資源を最大限活用できるスキルを修得する。特に思い付きを企画に組み立てるプロセスを身につける。</p>			
学習上の助言			
<p>実際の社会環境と重ねつつ、当事者意識を持って自身の資源開発に積極的に取り組む意欲を持って臨んで下さい。学内の有形無形の資産を自ら探し、積極的に有効活用する姿勢を持って臨んで下さい。</p>			
教科書及び教材			
<p>毎回講義使用教材を配布(ビジネスシミュレーションゲーム、ワークシート、自己チェックシート、ビジネス記事、企画シート、マイキャリアカード)</p>			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ガイダンス 消費者視点でBizシーンをリサーチ①	①ガイダンス (授業の目的/キャリアとは/ファッション専門学校進学目的など) ②【ワークシート】興味ある職種 ③【ワークシート】私はこんな服が好き ④【共通点探し】職種グループわけ/好きな服の理由発表(キーワード板書) ⑤【宿題】気になる職業について調べてくる"	
2	自分に引き寄せて職業リサーチ①	①復習 ②【確認】宿題：きになる職業 ③【グループワーク】気になる職業を再度調べ直し(マーカー目線：項目設定)	
3	自分に引き寄せて職業リサーチ②	①【発表】気になる職業(個人またはグループ)	
4	自分の価値観を振り返る①	①【ワークシート】こんな店が好き&理由→可視化(絵・デザイン) ②【発表】こんな店が好き&理由(板書)	
5	自分の価値観を振り返る②	①【ワークシート】こんな店員さんが好き&嫌い→可視化(絵・デザイン) ②【発表】こんな店員さんが好き&嫌い(板書)	
6	情報収集、取材準備	【説明】現場取材の目的・視点など	
7	視点転換、逆の立場で考える①	【ワークショップ】採用シミュレーション	
8	視点転換、逆の立場で考える②	復習・プレゼン準備	
9	自分に引き寄せて職業リサーチ③	【プレゼン：現場取材】本番(A3サイズ用紙・裏表/3分)	
10	自分に引き寄せて職業リサーチ④	【ワークショップ】現場取材の感想と今後の活用	
11	自分資源の開発①	【ワークショップ】マイキャリアカードで自分資源の棚卸①	
12	自分資源開発②	【ワークショップ】マイキャリアカードで自分資源の棚卸②	
13	自分資源を生かした将来設計①	【ワークシート】私はこんな仕事をしてみたい【発表】こんな仕事をしてみたい	
14	自分資源を生かした将来設計②	【発表】私はこんなシーンで活躍している【ワークシート】私はこんなシーンで活躍している	
15	自分企画	自分ならではのファッションビジネス企画書の制作	
成績評価の目安と方法			
<p>出席日数、受講態度(各授業におけるワークシート・自己評価シートなど)、期末におけるレポートを40:20:40の比重で配点し、総合評点が60点以上を合格とする。</p>			
評価	成績評価別の到達度		
A	広い視野で情報収集し、独自の分析をし、相手の立場に立ってプレゼンできる		
B	見えない情報も推察して情報収集を行い、多角度な視点で分析、編集できる		
C	情報を収集し、意図をもって編集し、発信できる		
D	相手の質問意図を汲むことができず一方的な発信、受信になりがち		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コンピューターグラフィックス1		奈良 将之	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
Macintosh の基本操作をはじめ、Adobe PhotoshopやAdobe illustratorの基本操作、各種ソフトの特徴を理解して目的に応じた適切な方法を選択し、仕上げるまでの授業を副教材を用いて行います。			
学習到達目標			
CGの基本的操作方法を習得			
学習上の助言			
コンピュータ知識、技術を習得し仕事を進める上での効率性アップなどにつながるように基礎から身につけましょう。			
教科書及び教材			
解説プリント及び見本、トレーニングファイル			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	PCルーム、システム、各種ソフトの使用方法和注意事項	
2	Adobe illustrator	用紙設定、各種ツール説明、写真の配置と文字の重ね方をはじめとする主な操作方法、保存、プリントアウト、フォトショップとの互換性を副教材を使用し修得する。	
3	Adobe Photoshop	用紙設定、各種ツール説明、レイヤー、フィルターをはじめとする主な操作方法、保存、プリントアウト、イラストレーターとの互換性を副教材を使用し修得する。	
4	プリントデザイン実習1	作品テーマ、プリント規定説明、デザイン実習	
5	プリントデザイン実習2	デザイン実習	
6	プリントデザイン実習3	デザイン実習	
7	Tシャツプリント1	インクジェットプリンター実習	
8	Tシャツプリント2	作品の仕上げ、完成データ提出	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する。			
評価	成績評価別の到達度		
A	Adobe Photoshopの基本的機能を理解、作品に反映されている		
B	Adobe Photoshopの基本的機能をおおむね理解、作品に反映されている		
C	Adobe Photoshopの基本的機能を最低限理解している		
D	特定の技術習得ができていない		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
incubate collection		教務部	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 1年 ファッションスタイリング科 1年	1
授業概要			
ファッションショー『incubate collection』を準備から実施まで行います。各ポジションに分かれそれぞれの担当教員から指導されます。			
学習到達目標			
社会人基礎力の向上 新入社員レベルを目指す。			
学習上の助言			
目標を成し遂げる責任ある行動が必要です。大変なことが多いと思いますが、同時に全学生が交流しながら仕事を進める楽しさもあります。精一杯取り組んでください。			
教科書及び教材			
担当教員よりその都度指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	ポジションごとに業務内容説明、取り組み姿勢の指導説明	
2	準備期間	ポジションごとに本番に向けた練習・準備	
3	本番前チェック	各ポジションの業務内容の内容とレベルチェック	
4	修正作業	チェックを受けて見つかった不足箇所の修正	
5	本番前準備	修正箇所の確認と本番に向けた準備	
6	本番	各ポジションの業務を行う	
7	撤収作業	本番終了後撤収作業	
8	検証	全ての工程を振り返り自身の業務を評価します。	
成績評価の目安と方法			
社会人基礎力を基にした評価をしますが、業務内容だけではなく行動姿勢、意欲まで評価基準となります。			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力が発揮され、模範的行動レベルであった。		
B	社会人基礎力が発揮され、自身の担当業務を全うした。		
C	社会人基礎力に不十分な面はあるが、自身の担当業務を全うした。		
D	社会人基礎力に未熟な面が多い。		



2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
プレゼンテーション1		小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
ビジネスの場ではプレゼンテーション力の重要性が指摘されています。この授業はプレゼンテーション能力向上をはかります。自分の考えをまとめ、発表内容に説得力を持たせることを実習を通して身につけます。			
学習到達目標			
説明する内容のスムーズな組み立て、声の大きさ、自分自身の立ち振る舞い、全てに神経を使いベストな状態で伝える意識と行動を身につけて下さい。			
学習上の助言			
ファッションは他者からの共感が大切です。そのためにはそれを伝える事が大変重要です。恐れずチャレンジして下さい。			
教科書及び教材			
担当教員よりその都度指示が出ます。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	プレゼン見学 (AP2)	上級生のプレゼンテーションを見学します。	
2	プレゼン見学 (FS2)	上級生のプレゼンテーションを見学します。	
3	プレゼン練習1	授業の成果物を使用したプレゼンテーションを行います。	
4	プレゼン見学 (1年)	同学年の他学科のプレゼンを見学します。	
5	プレゼン見学 (商品)	期間限定ショップ出品される商品のプレゼンを聞きます。	
6	プレゼン練習2	授業の成果物を使用したプレゼンテーションを行います。	
7	プレゼン練習3	授業の成果物を使用したプレゼンテーションを行います。	
8	プレゼン	年間の集大成としてプレゼンを行います。	
成績評価の目安と方法			
プレゼンテーション実施前に提示する評価基準にそって教員が評価します。望む姿勢、声の大きさ、ツールの使い方、聞きやすさ、等が評価基準になります。			
評価	成績評価別の到達度		
A	プレゼンテーションはすべての面において好印象を与え聞く側の共感を得て模範的である。		
B	プレゼンテーションは聴きやすく好印象を与えている。		
C	プレゼンテーションは出来ているが、好印象を与えるまでにはいかない。		
D	プレゼンテーションは出来ているが、改善面が多くある。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コレクションセミナー1		クラス担任	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、特別講義として業界で活躍中の方や卒業生の講演もあります。			
学習到達目標			
ファッションデザインをする際、トレンド（ファッションの傾向）はいつも意識しなくてはいけないものです。この時間はそのトレンドをつかむことを目的に実施する授業です。また、業界の著名人等の講演もあり、ファッションについてどのような考えを持っているか参考にして下さい。			
学習上の助言			
トレンドセミナーではわからない用語が出てくると思います。意味は必ず自分で調べるようにして下さい。			
教科書及び教材			
A4レポート用紙、筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	トレンドセミナー	パリ・ミラノコレクションレポート	
2	トレンドセミナー	パリ・ミラノ市場動向	
3	芸術鑑賞会	芸術鑑賞会 事前指導	
4	芸術鑑賞会	芸術鑑賞会 見学	
5	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
6	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
7	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
8	特別講義	業界著名人により講演	
成績評価の目安と方法			
レポート提出が毎回の課題です。期限厳守し、適切な内容をまとめて下さい。 評価は提出状況とレポート内容を総合的に判断します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	レポートは適切な内容にまとめられ、期限内に提出し、知識の蓄積ができています。		
B	レポートは適切な内容にまとめられ、期限内に提出できています。		
C	レポートにまとめ、期限に遅れても提出する。		
D	授業には参加するが、レポートは未提出である。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
マーケットリサーチ1		クラス担任	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
店舗リサーチから美術館見学まで幅広く行う校外見学の授業です。見学前には必ず事前情報を与えますので、目的や疑問を持ち、それを生かした見学の仕方をして下さい。			
学習到達目標			
「集めた情報を文章にまとめる。感じたことを文章表現する。」学内では得られないファッション情報や美的センスを磨くためアート作品の見学等を行います。必ずレポートを製作し知識や情報を蓄積させて下さい。			
学習上の助言			
リサーチ内容は必ずレポートでまとめ、知識の蓄積をしていきます。			
教科書及び教材			
A4レポート用紙、筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	アート鑑賞1	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
2	アート鑑賞2	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
3	アート鑑賞3	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
4	アート鑑賞4	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
5	店舗リサーチ1	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
6	店舗リサーチ2	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
7	材料リサーチ	服作りのための素材を見つけます。	
8	材料リサーチ	服作りのための素材を見つけます。	
成績評価の目安と方法			
レポート提出が必須です。期限厳守と適切な内容であるかを評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	リサーチしたことを適切にレポートにまとめ、期限内に提出し、知識の蓄積ができています。		
B	リサーチしたことを適切にレポートにまとめ、期限内に提出できている。		
C	リサーチしたことをレポートにまとめ、期限に遅れても提出する。		
D	授業には参加したが、レポートは未提出である。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
イベントプロデュース1		クラス担任	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
学園祭やハロウィンパーティーなどの準備から実施まで行います。学生間で協議し行事を運営していきます。			
学習到達目標			
社会人基礎力を養う授業です。履修目的を理解して受講してください。			
学習上の助言			
組織で目標達成ができるように、自発的に考え物事を進めてください。また、問題に直面した際は仲間や担当教員と相談し、適切な対応ができるようにしてください。			
教科書及び教材			
その都度、必要なものは指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	【新入生歓迎会】		
2		学生間の親睦をはかるイベントです。先輩達やクラス内で交流をはかってください。	
3	【体育祭】		
4		併設校と合同で行う体育祭です。楽しみながら規律ある行動が必要です。	
5	【ハロウィンパーティー】		
6		レクリエーションのイベントです。アイデアを凝らしたスタイリングをしてください。	
7	【学園祭】		
8		1年間の集大成となる学科の展示を行います。全員で協力し、成功させてください。	
成績評価の目安と方法			
社会人基礎力を基にした評価を行います。			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力は十分身につiki模範的行動ができるレベルである。		
B	社会人基礎力はを意識して行動できるレベルである。		
C	社会人基礎力は身につikitつあるがまだ不十分な面がある。		
D	授業への参加状況が悪く社会人基礎力が未熟である。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
リクルートガイダンス1		小西 広実	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
就職活動の進め方を理解し、自己PR、志望動機の作成や面接対策等の必要なスキルを身につける指導を行います。			
学習到達目標			
就職活動に必要な自己分析や企業研究等の準備を行い、志望企業に選考を進められることを目標とします。			
学習上の助言			
自己理解を深めて自分に合った企業を見つけましょう。たくさん企業研究を行い、志望企業を増やすことをおすすめします。			
教科書及び教材			
筆記用具、A4ファイル、ノート、授業時配布プリント			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業概要や職種、業界の理解	
2	就職についての理解	求められる人材、就職活動の基礎知識	
3	自己分析	自分の理解 強みや好きなこと、向いていることを知る	
4	自己分析	自分の理解 自分のやりたいことを考える	
5	自己PR作成	自己分析を活かし自己PRを考える	
6	自己PR作成	自己PRの練習	
7	企業分析	志望企業を見つける	
8	企業分析	企業に合った志望理由を考える	
9	内定者報告会	企業に内定している先輩から就職活動の体験談を聞く	
10	企業説明会	企業の人事を招いた学内企業説明会	
11	企業説明会	企業の人事を招いた学内企業説明会	
12	企業説明会	企業の人事を招いた学内企業説明会	
13	企業説明会	企業の人事を招いた学内企業説明会	
14	就職活動	志望企業にエントリーをする	
15	就職活動	志望企業の選考を進める	
成績評価の目安と方法			
出席率、課題提出、受講姿勢などを総合的に評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	就職活動について十分に理解し必要書類をきちんと書くことができる		
B	就職活動について良く理解し必要書類を書く事ができる		
C	就職活動について理解し必要書類を最低限書くことができる		
D	単位認定不可		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザイン画3		大谷 順	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
様々な発想方法によるオリジナルデザインの作成。 全16回を使ってポートフォリオの作成をし、それを通して創造力を鍛え、オリジナリティー重視のデザイン画を描く			
学習到達目標			
ファッションデザインの発想方法を身につけ、ポートフォリオ（デザインブック）にまとめられるようになる。			
学習上の助言			
ファッションデザインで大切なのは自分自身の発想によるオリジナルデザインです。自分にあった発想方法を見つけてどんどん描いていきましょう。			
教科書及び教材			
教科書、筆記用具、クロッキー帳、デザインパッド、その他自分の使いたい画材。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ポートフォリオ (デザインブック)の作成	ポートフォリオの概論 資料写真の集め方 見本を使っての説明。 自由な頭身でデザイン画を作成する。	
2	ディテールからの発想	ディテールの参考資料を使ってオリジナル作品を描く。	
3	人体への適合からの発想	人体への適合の資料を使ってオリジナルデザインを描く。	
4	民族衣装からの発想	民族衣装の資料からオリジナルデザインを描く。ポートフォリオ チェック。	
5	カワイイからの発想	自分で考えるカワイイの資料を探してオリジナルデザインを描く。	
6	美術からの発想	自分の好きな美術資料を探してオリジナルデザインを描く。	
7	ポートフォリオ作成 1	自分オリジナルのポートフォリオを作成する。	
8	ポートフォリオ作成 2	ポートフォリオを完成させる。	
成績評価の目安と方法			
オリジナルデザインの完成度60% 出席率30% 受講姿勢10% 自分独自のオリジナルデザインが見る人に伝わるようにポートフォリオにまとめられたか。			
評価	成績評価別の到達度		
A	課題が全て提出されている。オリジナリティーにあふれるポートフォリオを作成した。		
B	課題が全て提出されている。オリジナリティーを追求した。		
C	課題が全て提出されている。オリジナル度が低い。		
D	課題が全て提出されている。オリジナル度が低い。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コンピューターグラフィックス2		奈良 将之	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
必修科目コンピューターグラフィックス1で学んだ基本操作の復習と、主にシルクスクリーン手法を使用したオリジナルデザインプリントを製作し、更なる知識、技術の追求を深めます。			
学習到達目標			
道具としてCGが使える力を身につける。			
学習上の助言			
プロの現場でも活用出来るAdobe illustratorの基礎を理解し将来に役立てましょう。			
教科書及び教材			
作品見本illustratorファイル、他			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ソフトの互換性について	Adobe illustrator、Photoshopの基本操作復習	
2	Adobe illustrator技術習得1	デザイン実習1と復習、シルクスクリーンプリントの構造説明	
3	Adobe illustrator技術習得2	デザイン実習2と復習、デザイン相談	
4	CGデザイン実習	デザイン実習3と復習	
5	シルクスクリーン製作	シルクスクリーン版の製作	
6	シルクスクリーンプリント	インク配合とプリント実習	
7	CGデザイン実習	CG2最終作品を完成させる為のチュートリアル	
8	テスト	Adobe illustrato作品製作	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価する。			
評価	成績評価別の到達度		
A	Adobe illustrator、Photoshopの基本的機能、互換性を理解、作品に反映されている		
B	Adobe illustrator、Photoshopの基本的機能、互換性を理解をおおむね理解、作品に反映されている		
C	Adobe illustrator、Photoshopの基本的機能を最低限理解、作品に反映されている		
D	特定の技術習得ができていない		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コンテストコーチング		奈良 将之	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
特別実習	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
各種デザインコンテストに入選する為のノウハウ、アパレルデザインの考え方を身につけます。			
学習到達目標			
デザインコンテストへの挑戦			
学習上の助言			
クリエイターへの第一歩。効果的なラインの引き方から学びます。 新しい自分の才能が発見出来るよう頑張りましょう！			
教科書及び教材			
各種コンテスト受賞作品（実物、写真データ）			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	概要説明	各種コンテストの特徴と応募について	
2	コンテストデザインの考え方	コンテストデザインの考え方、素材とデザイン	
3	元型作成1	各自の個性に合わせた描きやすい元型の作成 について	
4	元型作成2	個別実習（元型の作成）	
5	デザイン実習1	植物、昆虫等、自然界にあるデザインをテーマとしたデザイン作成	
6	デザイン実習2	植物、昆虫等自然界にあるデザインをテーマとしたデザイン作成～下書き仕上げ	
7	パステルによる着色	パステル、色鉛筆によるデザイン画着色方法の修得	
8	デザイン実習3	個別相談～修正	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	コンテストデザインの考え方を十分に理解している		
B	コンテストデザインの考え方をおおまかに理解している		
C	コンテストデザインの考え方を最低限理解している		
D	特定の技術習得ができていない		



2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
モデルウォーキング1		walking posing school Harscente (ハルシェンテ)	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
特別実習	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
incubate collection においてモデルとしてステージに立つために必要な、作品イメージを表現をするウォーキングを身につけます。			
学習到達目標			
ランウェイでの表現力習得			
学習上の助言			
身体の動きとしてウォーキング、ポージングの習得だけでなく、作品を表現する姿勢も重要です。授業ではその部分の指導もしていきます。			
教科書及び教材			
体の動きがわかやすい体の線がわかる服で受講し、作品に合わせた練習用の靴を持参してください。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	基本姿勢の練習	ガイダンス 基本姿勢の説明～練習	
2	基本ウォーキング練習	美しく歩く基本ウォーキングの説明～練習	
3	基本ウォーキング練習	美しく歩く基本ウォーキングの練習	個別指導
4	基本ウォーキング練習	美しく歩く基本ウォーキングの練習	個別指導
5	ウォーキングレッスン	作品に合わせたウォーキングを指導	
6	ウォーキングレッスン	本番での使用曲に合わせてのウォーキング練習	個別指導
7	ウォーキングレッスン	本番での使用曲に合わせてのウォーキング、ポージング練習	個別指導
8	学内リハーサル	ランニングオーダーに沿ってリハーサルを実施	
9	学内リハーサル	ランニングオーダーに沿ってリハーサルを実施～修正指導	
10	学内最終リハーサル	本番前の最終リハーサル	
成績評価の目安と方法			
受講姿勢、ウォーキング、ポージングの習得状況を総合的に判断			
評価	成績評価別の到達度		
A	積極的姿勢で受講し、作品のイメージに合ったウォーキング、ポージングを習得し、見る側を魅了するレベルである		
B	積極的姿勢で受講し、作品のイメージに合ったウォーキング、ポージングを習得		
C	作品のイメージに合ったウォーキング、ポージングを習得		
D	担当作品のイメージを理解したウォーキング、ポージングの習得が曖昧		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
キャンパスサポート1		小倉 展伸・奈良 将之・鈴木 あかり	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
特別実習	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
本校の体験入学において接遇を学ぶ機会であり、人格教育としての面もあります。初対面の相手と和やかな会話を交わし、相手への気遣いを身につけていきます。			
学習到達目標			
初対面の相手と和やかな会話を交わし、相手へ遣いが出来るレベルを身につけてください。			
学習上の助言			
学内で行うインターンシップとしてのぞんでください。担当日は責任をもって出席し、体調不良などの理由で遅刻、欠席の場合は速やかな報告をしてください。			
教科書及び教材			
必要に応じて担当教員から指示をします。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	参加する上での注意事項の説明 評価項目についての説明	
2	マナー講座①	体験入学における接遇の理解	
3	体験入学当日	朝礼9:00 実習のサポート、昼食、誘導、お見送り等	
4	マナー講座②	再確認	
5	マナー講座③	スキルアップ	
6	体験入学当日	朝礼9:00 実習のサポート、昼食、誘導、お見送り等	
7	レポート作成	反省会	
8	評価	各自へ評価結果を口頭で伝えます。	
成績評価の目安と方法			
評価項目 積極性 理解力 行動力 責任感 気遣い 礼儀 6項目を総合的に評価 【総合評価はA B Cの3ランクで評価】			
評価	成績評価別の到達度		
A	総合評価はA取得であり評価項目は全てAである		
B	総合評価はA取得であるが、評価項目にB評価を含んでいる		
C	総合評価 B取得		
D	総合評価 C取得		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザインクリエイション1		小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
期間限定ショップに向けた商品企画の授業です。商品コンセプト、デザインテーマを組み立て、それからデザインを製作します。授業の成果物として企画内容をまとめたレジュメを完成させます。			
学習到達目標			
販売時期やトレンドを意識しながら創造的なデザインを生み出す事の大切さを学び、価値を創造する大切さを理解してください。			
学習上の助言			
デザイン相談は個別に行っていきます。自分の意思を伝えてください。			
教科書及び教材			
毎回、デザイン画を描ける準備をして下さい。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	課題説明	期間限定ショップへの理解の促し諸品製作上、押さえるポイントの説明をします。	
2	デザイン練習	自由な発想の着こなしで表現する～デザイン作り～発表	
3	デザイン練習	色や柄使いをポイントとしたデザイン作り～発表	
4	デザインテーマ	販売時期を考慮し、商品を魅力的に伝えるテーマを作る。設定したテーマのイメージビジュアルを作っていきます。	
5	チュートリアル	個別にデザイン相談	
6	修正作業～修正確認	指摘事項を消化する修正作業～デザイン完成	
7	デザイン完成 プレゼン準備	企画内容を要約したレジュメを作ります。	
8	レジュメ完成	レジュメ完成	
成績評価の目安と方法			
課題に対する理解度30点 製作物のクオリティ20点 独創性40点 期限内提出10点			
評価	成績評価別の到達度		
A	販売時期やトレンドを理解し、価値を感じさせる商品を企画し、その内容をレジュメに表現できた。		
B	販売時期やトレンドを理解し、価値を感じさせる商品を企画できた。		
C	授業に参加し、個性的なデザインを製作することができた。		
D	授業に参加し、デザインを製作することができた。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザインクリエイション2		小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
11月のincubate collection で発表する作品のデザイン製作の授業です。コンセプト、デザインテーマを組み立てデザインを製作します。授業の成果物として企画内容をまとめたレジュメを完成させます。			
学習到達目標			
そのデザインは誰に対しての物なのかを明確に意識し、個性的なデザインを生み出す事の大切さを学び、美しさの表現に全力を尽くす。			
学習上の助言			
デザイン相談は個別に行っていきます。自分の意思を伝えてください。			
教科書及び教材			
毎回、デザイン画を描ける準備をしてください。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	課題説明	コレクションへの理解の促し、押さえるべきポイントの説明をします。過去のコレクションの映像や写真で参考作品を批評します。	
2	テーマ作り	時代感を感じさせるテーマ作り	
3	テーマプレゼン	ラフの段階でクラス内でテーマのプレゼン。	
4	イメージボード製作	設定したテーマのイメージヴィジュアルを作っていきます。	
5	デザインワーク	テーマに沿ったデザイン製作します。同時に使用する素材のリサーチを行います。	
6	チュートリアル	個別にデザイン相談。修正箇所の指摘。	
7	修正作業～修正確認	デザインの修正作業～デザイン完成。	
8	デザイン完成 プレゼン準備	イメージボード、デザインが、テーマや商品内容のポイントを要約したレジュメを作ります。	
成績評価の目安と方法			
課題に対する理解度30点 製作物のクオリティ20点 独創性40点 期限内提出10点			
評価	成績評価別の到達度		
A	時代感を感じさせ、且つ個性的なデザインを生み出し、その内容をレジュメで表現できた		
B	個性的なデザインを生み出し、その内容をレジュメで表現できた。		
C	授業に参加し、個性的なデザインを製作することができた。		
D	授業に参加し、デザインを製作することができた。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザインクリエイション3		小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
学園祭での卒業製作として発表する作品のデザイン製作の授業です。コンセプト、デザインテーマを組み立てデザインを製作します。授業の成果物として企画内容をまとめたレジュメを完成させます。			
学習到達目標			
そのデザインは誰に対しての物なのかを明確に意識し、個性的なデザインを生み出す事の大切さを学び、美しさの表現に全力を尽くし、2年間の集大成として見栄えのする作品を目指してください。			
学習上の助言			
デザイン相談は個別に行っていきます。自分の意思を伝えてください。			
教科書及び教材			
毎回、デザイン画を描ける準備をしてください。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	課題説明	卒業製作で押さえるべきポイントの説明をします。過去のコレクションの映像や写真で参考作品を批評します。	
2	テーマ作り	時代感を感じさせるテーマ作り。	
3	テーマプレゼン	ラフの段階でクラス内でテーマのプレゼン。	
4	イメージボード製作	設定したテーマのイメージヴィジュアルを作っていきます。	
5	デザインワーク	テーマに沿ったデザイン製作します。同時に使用する素材のリサーチを行います。	
6	チュートリアル	個別にデザイン相談。修正箇所の指摘。	
7	修正作業～修正確認	デザインの修正作業～デザイン完成。	
8	デザイン完成 プレゼン準備	イメージボード、デザインが、テーマや商品内容のポイントを要約したレジュメを作ります。	
成績評価の目安と方法			
課題に対する理解度30点 製作物のクオリティ20点 独創性40点 期限内提出10点			
評価	成績評価別の到達度		
A	時代感を感じさせ、且つ個性的なデザインを生み出し、その内容をレジュメで表現できた		
B	個性的なデザインを生み出し、その内容をレジュメで表現できた。		
C	授業に参加し、個性的なデザインを製作することができた。		
D	授業に参加し、デザインを製作することができた。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
クリエイションパターン1		佐々木 しづえ	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	2
授業概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期間限定ショップでの商品製作</li> <li>・ 自身のトレンド、デザインを具体化</li> <li>・ 企業の工程、手順を学ぶ</li> <li>・ 完成までの時間配分能力を習得する。</li> </ul>			
学習到達目標			
基本と応用力 トrendの具体化（全体のバランスを考えたトワル組立て、完成） バランスを考えたパターントワルの修正方法を学ぶ			
学習上の助言			
主に個別指導、自身のデザインを考えたパターン指導、素材選び、応用力を身につける。			
教科書及び教材			
パターン用具一式、製図用紙、原型、ボディ9号 他			
授業内容			
回	内容		
	【デザイン画参考の上、パターン及びドレーピング指導】		
	工程 1、パターン～トワルへ		
	2、立体～パターンへ		
	3、ボディにて半身製作（アシメトリーの場合は両身製作）		
	4、ボディにて全体のバランス修正（ピン打ち）		
	5、トワル縫い、ボディにてトワルチェック実施		
	6、トワルチェック修正～授業最終に修正パターン完成		
成績評価の目安と方法			
パターン力、立体力、基本～応用能力、計画性、工程管理、進行状況、出席、授業態度			
評価	成績評価別の到達度		
A	進行、出席、授業態度、理解力、が優れている。 作品の完成		
B	進行、出席、授業態度、理解力、が平均レベル。 作品の完成		
C	進行に遅れがあるが作品は完成		
D	進行に遅れがあり作品未完成		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
クリエイションパターン2		佐々木 しづえ	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	2
授業概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・incubate collectionの作品製作</li> <li>・パターン、立体のバランス習得</li> <li>・オリジナリティを重視しデザインを具体化</li> <li>・完成までの時間配分能力を習得する。</li> </ul>			
学習到達目標			
モデルに合ったサイズ修正をマスターする。具体化する技術力の習得			
学習上の助言			
主に個別指導、自身のデザインを考えたパターン指導、素材選び、応用力を身につける。			
教科書及び教材			
パターン用具一式、製図用紙、原型、ボディ9号 他			
授業内容			
回	内容		
	【デザイン画参考の上、パターン及びドレーピング指導】		
	工程 1、モデルサイズを知る		
	2、パターン～トワルへ 立体～パターンへ		
	3、立体～パターンへ		
	4、ボディにて全体のバランス修正（ピン打ち）		
	5、トワル縫い、ボディにてトワルチェック実施		
	6、トワルチェック		
	7、トワルチェック修正～授業最終に修正パターン完成		
成績評価の目安と方法			
パターン力、立体力、基本～応用能力、計画性、工程管理、進行状況、出席、授業態度			
評価	成績評価別の到達度		
A	進行、出席、授業態度、理解力、が優れている。 作品の完成		
B	進行、出席、授業態度、理解力、が平均レベル。 作品の完成		
C	進行に遅れがあるが作品は完成		
D	進行に遅れがあり作品未完成		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
クリエイションパターン3		佐々木 しづえ	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業記念コレクション作品製作</li> <li>・パターン、立体のバランス習得</li> <li>・オリジナリティを重視しデザインを具体化</li> <li>・完成までの時間配分能力を習得する。</li> </ul>			
学習到達目標			
モデルに合ったサイズ修正をマスターする。具体化する技術力の習得			
学習上の助言			
主に個別指導、自身のデザインを考えたパターン指導、素材選び、応用力を身につける。卒業作品となるので今まで習得した力を生かした作業を心がける。			
教科書及び教材			
パターン用具一式、製図用紙、原型、ボディ9号 他			
授業内容			
回	内容		
	【デザイン画参考の上、パターン及びドレーピング指導】		
	工程 1、モデルサイズを知る		
	2、パターン～トワルへ 立体～パターンへ		
	3、立体～パターンへ		
	4、ボディにて全体のバランス修正（ピン打ち）		
	5、トワル縫い、ボディにてトワルチェック実施		
	6、トワルチェック		
	7、トワルチェック修正～授業最終に修正パターン完成		
成績評価の目安と方法			
パターン力、立体力、基本～応用能力、計画性、工程管理、進行状況、出席、授業態度			
評価	成績評価別の到達度		
A	進行、出席、授業態度、理解力、が優れている。 作品の完成		
B	進行、出席、授業態度、理解力、が平均レベル。 作品の完成		
C	進行に遅れがあるが作品は完成		
D	進行に遅れがあり作品未完成		



2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
モデリング1		佐々木 しづえ	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	3
授業概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期間限定ショップでの商品製作</li> <li>・ 自身のトレンド、デザインを具体化</li> <li>・ 企業の工程、手順を学ぶ</li> <li>・ 完成までの時間配分能力を習得する。</li> </ul>			
学習到達目標			
デザイン画にあった全体バランス、素材選び、縫製技術の習得			
学習上の助言			
商品としての完成度、縫製力を重視。 基礎縫いと応用縫いの理解。			
教科書及び教材			
縫製用具一式、製作上必要な材料は各自で準備			
授業内容			
回	内容		
	【商品製作の作業工程】		
	工程 1、修正パターン確認		
	2、裁断		
	3、ソーイング指導		
	4、完成チェック (ボディ9号)		
	5、完成		
成績評価の目安と方法			
縫製技術、計画性、工程管理、進行状況、出席、授業態度			
評価	成績評価別の到達度		
A	進行、出席、授業態度、理解力、が優れている。 作品の完成		
B	進行、出席、授業態度、理解力、が平均レベル。 作品の完成		
C	進行に遅れがあるが作品は完成		
D	進行に遅れがあり作品未完成		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
モデリング2		佐々木 しづえ	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	3
授業概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・incubate collectionの作品製作</li> <li>・パターン、立体のバランス習得</li> <li>・オリジナリティを重視しデザインを具体化</li> <li>・完成までの時間配分能力を習得する。</li> </ul>			
学習到達目標			
デザイン画にあった全体バランス、素材選び。具体化する技術力の習得			
学習上の助言			
主に個別指導、作品の完成度、縫製力を重視。 基礎縫いと応用縫いの理解。			
教科書及び教材			
縫製用具一式、製作上必要な材料は各自で準備			
授業内容			
回	内容		
	【コレクション作品製作の作業工程】		
	工程 1、修正パターン確認		
	2、裁断		
	3、ソーイング指導		
	4、モデルによるフィッティング		
	5、フィッティング～修正		
	6、修正確認		
	7、完成		
	8、コーディネートまで含めた完成チェック		
成績評価の目安と方法			
縫製技術、計画性、工程管理、進行状況、出席、授業態度			
評価	成績評価別の到達度		
A	進行、出席、授業態度、理解力、が優れている。 作品の完成		
B	進行、出席、授業態度、理解力、が平均レベル。 作品の完成		
C	進行に遅れがあるが作品は完成		
D	進行に遅れがあり作品未完成		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
モデリング3		佐々木 しづえ	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	2
授業概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業記念コレクション作品製作</li> <li>・オリジナリティを重視しデザインを具体化</li> <li>・パターン、立体のバランス習得</li> <li>・完成までの時間配分能力を習得する。</li> </ul>			
学習到達目標			
デザイン画にあった全体バランス、素材選び。具体化する技術力の習得			
学習上の助言			
主に個別指導、作品の完成度、縫製力を重視。基礎縫いと応用縫いの理解。 2年間の集大成として臨むこと。			
教科書及び教材			
縫製用具一式、製作上必要な材料は各自で準備			
授業内容			
回	内容		
	【卒業記念コレクション作品製作の作業工程】		
	工程 1、修正パターン確認		
	2、裁断		
	3、ソーイング指導		
	4、モデルによるフィッティング		
	5、フィッティング～修正		
	6、修正確認		
	7、完成		
	8、コーディネートまで含めた完成チェック		
成績評価の目安と方法			
縫製技術、計画性、工程管理、進行状況、出席、授業態度			
評価	成績評価別の到達度		
A	進行、出席、授業態度、理解力、が優れている。 作品の完成		
B	進行、出席、授業態度、理解力、が平均レベル。 作品の完成		
C	進行に遅れがあるが作品は完成		
D	進行に遅れがあり作品未完成		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
立体裁断3		松山 由未	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
立体裁断による表現実習とパターン理論、演習			
学習到達目標			
製品と作品表現のための立体裁断の基本技術の習熟 平面製図との互換性、身体と洋服の関係性の理解			
学習上の助言			
作品を具現化していく上で有効なテクニックです。表現する喜びも会得してください。			
教科書及び教材			
洋裁用具、製図用具、鉛筆、3色ボールペン、ノート、他必要に応じて授業内で告知			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業進行、評価基準、トルソーと製図法、規格	
2	身頃原型1	ドレーピング、パターンドラフティング	
3	身頃原型2	ゆるみ入り原型の理論と演習、サンプルメイキング	
4	基本袖	理論と演習、サンプルメイキング	
5	二枚袖	理論と演習、サンプルメイキング	
6	スカート原型	ドレーピング、パターンドラフティング	
7	袖のバリエーション1		
8	袖のバリエーション2		
成績評価の目安と方法			
技術修得、課題提出、受講姿勢を総合的に評価。 受講回数が2/3未満の場合もしくは理解不足と考えられる場合、再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	立体裁断と平面製図の互換性をよく理解、反映し、適切なピンワークで表現できる		
B	立体裁断と平面製図の互換性を理解し、適切なピンワークで表現できる		
C	立体裁断の特性を理解し、ピンワークで表現できる		
D	ピンワークに未熟な点が多く見られる、課題の未提出、受講状況に問題がある		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
CAD1		株式会社 東レACS	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
CADの基本操作の習得			
学習到達目標			
アパレル業界で必要不可欠となったアパレルCADを現状の理解とともに操作方法も学習する。			
学習上の助言			
授業ではプリントを配布するので、A4サイズのファイルを準備すること。 授業で行ったことはメモを取り、復習または次回の授業時に活かせるようにファイリングすること。			
教科書及び教材			
配布プリント等			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	CADの基本知識	アパレル業界とCADの現状。	
2	基本操作 1	画面構成(画面解説)	
3	基本操作 2	データ管理(開く・保存・バックアップなど)	
4	基本操作 3	基本操作(マウスやキーボードを使用した基本操作)	
5	基本操作 4	基本操作(機能の紹介)	
6	基本操作 5	メニューのカスタマイズ	
7	基本操作 6	入力と出力(トレース・プロッタ・プリンタ)	
8	復習	簡単な囲み製図 操作方法の習得確認	
成績評価の目安と方法			
出席率、受講態度、知識・技術の習得を総合的に評価する。 出席回数が2/3未満、もしくは提出課題未了の場合は再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	積極的に授業に参加し、CADの基本操作が習得出来ている。		
B	積極的に授業に参加し、CADの基本操作が概ね習得出来ている。		
C	授業に参加し、CADの基本操作習得が不十分ではある。		
D	授業の参加が消極的で、CADの基本操作の習得が未熟である。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
CAD 2		株式会社 東レACS	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
CADの基本操作の習得 マーキング、グレーディング操作の習得			
学習到達目標			
アパレル業界で必要不可欠となったアパレルCADを現状の理解とともに操作方法も学習する。			
学習上の助言			
授業ではプリントを配布するので、A4サイズのファイルを準備すること。 授業で行ったことはメモを取り、復習または次回の授業時に活かせるようにファイリングすること。			
教科書及び教材			
配布プリント等			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	マーキングの基本操作 1	データの流れ	
2	マーキングの基本操作 2	収集とデータ管理	
3	マーキングの基本操作 3	配置と基本的な機能	
4	マーキングの基本操作 4	柄合わせ	
5	グレーディング 1	グレーディング作業の流れ	
6	グレーディング 2	グレーディング処理とチェック機能	
7	グレーディング 3	色々なデザインに対応するには	
8	復習	習得確認	
成績評価の目安と方法			
出席率、受講態度、知識・技術の習得を総合的に評価する。 出席回数が2/3未満、もしくは提出課題未了の場合は再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	積極的に授業に参加し、マーキング、グレーディングの操作が習得出来ている。		
B	積極的に授業に参加し、マーキング、グレーディング操作が概ね習得出来ている。		
C	授業に参加し、マーキング、グレーディング操作習得が不十分ではある。		
D	授業の参加が消極的で、マーキング、グレーディング操作の習得が未熟である。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターン・テクニク1		室谷 浩子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
パターンメイキングに関する基礎知識・技術をパターンメイキング技術検定3級筆記試験対策をかねて学ぶ			
学習到達目標			
パターンメイキング技術検定3級筆記試験合格			
学習上の助言			
反復練習によって知識と技術を確実に身につけましょう			
教科書及び教材			
パターンメイキング技術検定3級ガイドブック・パターン用具一式			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ブラウスのパターンメイキング	身頃のパターン（シルエット・構造線の考え方）	
2	ブラウスのパターンメイキング	袖のパターン（袖山の考え方、平面製図と展開）	
3	ブラウスのパターンメイキング	衿のパターン（衿腰の考え方）	
4	工業用パターンの知識	工業用パターン記号・縫い代の考え方・縫い代付け	
5	グレーディング	スカート、スカートのグレーディングの考え方と実技、ネスト図	
6	模擬試験	理論 解答・解説	
7	模擬試験	製図 解答・解説	
8	試験対策	復習と質問・試験準備	
成績評価の目安と方法			
パターンメイキング技術検定3級筆記試験の結果・出席状況・課題提出状況			
評価	成績評価別の到達度		
A	パターンメイキング技術検定3級筆記試験合格及びブラウスの構造を良く理解している		
B	パターンメイキング技術検定3級筆記試験合格及びブラウスの構造を理解している		
C	ブラウスの構造を理解している		
D	ブラウスの構造の理解度が不足している		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションマテリアル2		小西 広実	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
1年次に学習した基本を復習しながら、教員の用意するテキスタイル資料、PTT画像等を使用し進める。また実験も取り入れ、実際の素材にも触れながら目と手で学ばせる授業内容を進行する。			
学習到達目標			
自らの作品クリエーションを高度なものとするため、より深いテキスタイル知識を習得する。			
学習上の助言			
様々なテキスタイルがあります。興味を持って取り組みましょう。			
教科書及び教材			
教科書及びテキストは使用せず、教員が用意する素材資料、又コピーを教材とする。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	授業全体ガイダンス	具体的な授業内容とその進行方法の解説	
2	素材基礎知識	1年次学習内容の確認	
3	天然繊維1	天然繊維基本素材の種類と特徴の解説	
4	天然繊維2	//	
5	化学繊維1	化学繊維素材の種類と特徴の解説	
6	糸の種類と性能	分類 製造と加工 構造と性質	
7	布等の種類と性能	種類 組織 編物の種類と編地の基礎	
8	染色・加工について	テキスタイルの染色、加工の解説	
9	新しい素材について	注目素材や繊維について	
10	衣料品の品質要求項目	素材の品質要求項目と消費性能	
11	品質管理	品質管理とは 実施と手法	
12	繊維製品の消費者問題1	新しい洗濯表示について	
13	繊維製品の消費者問題2	衣料品の消費者苦情 環境問題	
14	テスト実施	習得知識の筆記テストを実施	
15	テスト解説と総合復習	テスト解答解説 質疑応答	
成績評価の目安と方法			
出席、知識の習得、受講姿勢、で評価する			
評価	成績評価別の到達度		
A	講義内容を十分に理解することができた。		
B	講義内容を良く理解した。		
C	講義内容を理解した。		
D	単位認定不可		



2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
リクルートガイダンス2		小倉 展伸・小西 広実	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
就職を希望する学生が自信を持って就職試験に行けるように自身の考え、表現力をまとめ伝えられる様に就職試験対策を行う。			
学習到達目標			
自己PR等を完成させ、面接での自己表現を習得し内定を獲得することを目標とします。			
学習上の助言			
面接試験を想定して行います。自己表現方法を早く習得するためにも積極的に参加をしましょう。			
教科書及び教材			
テキストは使用しません。必要に応じてプリントを配布します。また適宜参考文献等を紹介します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	面接について	受験する際の注意、面接の目的、面接官の視点について	
2	面接練習	個人面接 言葉使い 身だしなみ 姿勢	
3	企業との連絡の取り方	ビジネスメール、手紙、電話の方法	
4	面接練習	グループ面接 各種役割とその内容について	
5	面接練習	グループ面接	
6	面接練習	各自質問事項の答えをまとめる	
7	面接練習	グループディスカッション、グループワーク	
8	内定後について	内定から入社までの流れ お礼状の書き方 内定後の過ごし方	
成績評価の目安と方法			
各回で実施する課題、授業態度などで総合的に成績評価を行う 授業実施回数2/3以上の出席を要する			
評価	成績評価別の到達度		
A	自分の考え作品内容などをまとめ十分に伝えることができる		
B	自分の考え作品内容などをまとめ良く伝えることができる		
C	自分の考え作品内容などをまとめ伝えることができる		
D	単位認定不可		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
incubate collection		教務部	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科 2年 ファッションスタイリング科 2年	1
授業概要			
ファッションショー『incubate collection』を準備から実施まで行います。各ポジションに分かれそれぞれの担当教員から指導されます。2年生は上級生として責任あるポジションに配置されます。			
学習到達目標			
社会人基礎力の向上 新入社員レベルを目指す。			
学習上の助言			
目標を成し遂げる責任ある行動が必要です。大変なことが多いと思いますが、同時に全学生が交流しながら仕事を進める楽しさもあります。精一杯取り組んでください。			
教科書及び教材			
担当教員よりその都度指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	ポジションごとに業務内容説明、取り組み姿勢の指導説明	
2	準備期間	ポジションごとに本番に向けた練習・準備	
3	本番前チェック	各ポジションの業務内容の内容とレベルチェック	
4	修正作業	チェックを受けて見つかった不足箇所の修正	
5	本番前準備	修正箇所の確認と本番に向けた準備	
6	本番	各ポジションの業務を行う	
7	撤収作業	本番終了後撤収作業	
8	検証	全ての工程を振り返り自身の業務を評価します。	
成績評価の目安と方法			
社会人基礎力を基にした評価をしますが、業務内容だけではなく行動姿勢、意欲まで評価基準となります。			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力が発揮され、模範的行動レベルであった。		
B	社会人基礎力が発揮され、自身の担当業務を全うした。		
C	社会人基礎力に不十分な面はあるが、自身の担当業務を全うした。		
D	社会人基礎力に未熟な面が多い。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
プレゼンテーション2		小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
期間限定ショップ商品、incubate collection作品、卒業記念コレクション作品のプレゼンを行います。			
学習到達目標			
説明する内容のスムーズな組み立て、声の大きさ、自分自身の立ち振る舞い、全てに神経を使いベストな状態で伝える意識と行動を身につけて下さい。			
学習上の助言			
ファッションは他者からの共感が大切です。そのためにはそれを伝える事が大変重要です。恐れずチャレンジして下さい。			
教科書及び教材			
担当教員よりその都度指示が出ます。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	プレゼン見学	同学年の他学科のプレゼンを見学します。	
2	プレゼンテーション準備	説明内容の組み立てやツールの使い方の準備	
3	プレゼンテーション準備	クラス内でのプレゼンテーション練習	
4	プレゼンテーション1	期間限定ショップ 企画プレゼン 実施～評価	
5	プレゼンテーション2	期間限定ショップ 商品プレゼン 実施～評価	
6	プレゼンテーション3	incubatecollection デザインプレゼン 実施～評価	
7	プレゼンテーション5	incubatecollection 作品プレゼン 実施～評価	
8	プレゼンテーション6	卒業製作企画プレゼン 実施～評価	
成績評価の目安と方法			
プレゼンテーション実施前に提示する評価基準にそって教員が評価します。望む姿勢、声の大きさ、ツールの使い方、聞きやすさ、等が評価基準になります。			
評価	成績評価別の到達度		
A	プレゼンテーションはすべての面において好印象を与え聞く側の共感を得て模範的である。		
B	プレゼンテーションは聴きやすく好印象を与えている。		
C	プレゼンテーションは出来ているが、好印象を与えるまでにはいかない。		
D	プレゼンテーションは出来ているが、改善面が多くある。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コレクションセミナー2		クラス担任	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、特別講義として業界で活躍中の方や卒業生の講演もあります。			
学習到達目標			
ファッションデザインをする際、トレンド（ファッションの傾向）はいつも意識しなくてはならないものです。この時間はそのトレンドをつかむことを目的に実施する授業です。また、業界の著名人等の講演もあり、ファッションについてどのような考えを持っているか参考にして下さい。			
学習上の助言			
トレンドセミナーではわからない用語が出てくると思います。意味は必ず自分で調べるようにして下さい。			
教科書及び教材			
A4レポート用紙、筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	トレンドセミナー	パリ・ミラノコレクションレポート	
2	トレンドセミナー	パリ・ミラノ市場動向	
3	芸術鑑賞会	芸術鑑賞会 事前指導	
4	芸術鑑賞会	芸術鑑賞会 見学	
5	副資材について	YKKファスナー講習 副資材の理解を深める	
6	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
7	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
8	特別講義	業界著名人により講演	
成績評価の目安と方法			
レポート提出が毎回の課題です。期限厳守し、適切な内容をまとめて下さい。 評価は提出状況とレポート内容を総合的に判断します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	レポートは適切な内容にまとめられ、期限内に提出し、知識の蓄積ができています。		
B	レポートは適切な内容にまとめられ、期限内に提出できています。		
C	レポートにまとめ、期限に遅れても提出する。		
D	授業には参加するが、レポートは未提出である。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
マーケットリサーチ2		クラス担任	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
店舗リサーチから美術館見学まで幅広く行う校外見学の授業です。2年生では自身の作品表現のアイデアや表現手法について情報を集めます。			
学習到達目標			
「集めた情報を文章にまとめる。感じたことを文章表現する。」学内では得られないファッション情報や美的センスを磨くためアート作品の見学等を行います。必ずレポートを製作し知識や情報を蓄積させて下さい。			
学習上の助言			
リサーチ内容は必ずレポートでまとめ、知識の蓄積をしていきます。			
教科書及び教材			
A4レポート用紙、筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	アート鑑賞1	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
2	アート鑑賞2	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
3	アート鑑賞3	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
4	アート鑑賞4	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞	
5	店舗リサーチ1	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
6	店舗リサーチ2	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
7	材料リサーチ1	作品に使用する素材探をリサーチします。	
8	材料リサーチ2	作品に使用する素材探をリサーチします。	
成績評価の目安と方法			
レポート提出が必須です。期限厳守と適切な内容であるかを評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	リサーチしたことを適切にレポートにまとめ、期限内に提出し、知識の蓄積ができています。		
B	リサーチしたことを適切にレポートにまとめ、期限内に提出できている。		
C	リサーチしたことをレポートにまとめ、期限に遅れても提出する。		
D	授業には参加したが、レポートは未提出である。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
イベントプロデュース2		クラス担任	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	2
授業概要			
学園祭やハロウィンパーティーなどの準備から実施まで行います。学生間で協議し行事を運営していきます。2年生では下級生を指導する機会もあります。			
学習到達目標			
社会人基礎力を養う授業です。履修目的を理解して受講してください。			
学習上の助言			
組織で目標達成ができるように、自発的に考え物事を進めてください。また、問題に直面した際は仲間や担当教員と相談し、適切な対応ができるようにしてください。			
教科書及び教材			
その都度、必要なものは指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	【新入生歓迎会】		
2		学生間の親睦をはかるイベントです。先輩達やクラス内で交流をはかってください。	
3	【体育祭】		
4		併設校と合同で行う体育祭です。楽しみながら規律ある行動が必要です。	
5	【ハロウィンパーティー】		
6		レクリエーションのイベントです。アイデアを凝らしたスタイリングをしてください。	
7	【学園祭】		
8		1年間の集大成となる学科の展示を行います。全員で協力し、成功させてください。	
成績評価の目安と方法			
社会人基礎力を基にした評価を行います。			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力は十分身につつき模範的行動ができるレベルである。		
B	社会人基礎力はを意識して行動できるレベルである。		
C	社会人基礎力は身につつつあるがまだ不十分な面がある。		
D	授業への参加状況が悪く社会人基礎力が未熟である。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターン・テクニク2		室谷 浩子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
パターンメイキングに関する基礎知識・技術をパターンメイキング技術検定3級実技試験対策を兼ねて学ぶ			
学習到達目標			
パターンメイキング技術検定3級 実技試験合格			
学習上の助言			
反復練習によって、パターン・トワルを的確かつ美しく仕上げる事を身に付けよう			
教科書及び教材			
パターンメイキング技術検定3級ガイドブック・パターン用具一式・配布資料			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ブラウスA	ストレート原型 ブラウスのパターンメイキング トワル裁断・組み立て	
2	ブラウスA ブラウスB	パターントレース・トワルチェック・パターンチェック パターンメイキング	
3	ブラウスB	トワル裁断・組み立て パターントレース・トワルチェック・パターンチェック	
4	模擬試験（ブラウスA）	パターンメイキング～トワル組み立て	
5	模擬試験（ブラウスA）	時間内でファーストパターンとトワル完成 確認・修正	
6	模擬試験（ブラウスB）	パターンメイキング～トワル組み立て	
7	模擬試験（ブラウスB）	時間内でファーストパターンとトワル完成 確認・修正	
8	試験対策	復習と試験準備	
成績評価の目安と方法			
パターンメイキング技術検定3級実技試験の結果・模擬試験の結果・出席状況			
評価	成績評価別の到達度		
A	パターンメイキング技術検定3級実技試験合格及びブラウスの構造を良く理解しパターン・トワルで美しく表現出来る		
B	パターンメイキング技術検定3級実技試験合格及びブラウスの構造を理解しパターン・トワルで表現出来る		
C	ブラウスの構造を理解しパターン・トワルで表現出来る		
D	ブラウスの構造の理解度が不足している		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
CAD 3		株式会社 東レACS	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
CAD1,CAD2で習得した操作方法を使い簡単な囲み製図の取り組み			
学習到達目標			
アパレル業界で必要不可欠となったアパレルCADを現状の理解とともに操作方法も学習する。			
学習上の助言			
授業ではプリントを配布するので、A4サイズのファイルを準備すること。 授業で行ったことはメモを取り、復習または次回の授業時に活かせるようにファイリングすること。			
教科書及び教材			
配布プリント等			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	練習課題1	簡単な囲み製図～操作方法相談	
2	練習課題2	簡単な囲み製図～操作方法相談	
3	練習課題3	簡単な囲み製図～操作方法相談	
4	基本操作4	簡単な囲み製図～操作方法相談	
5	基本操作5	簡単な囲み製図～操作方法相談	
6	対処方法1	困った時の対処方法(ヘルプ)	
7	対処方法2	困った時の対処方法(ヘルプ)	
8	まとめ	操作方法の習得確認	
成績評価の目安と方法			
出席率、受講態度、知識・技術の習得を総合的に評価する。 出席回数が2/3未満、もしくは提出課題未了の場合は再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	積極的に授業に参加し、CADの基本操作を使い製図が出来る。		
B	積極的に授業に参加し、CADの基本操作を使い概ね製図が出来る。		
C	授業に参加し、CADの基本操作習得が不十分ではある。		
D	授業の参加が消極的で、CADの基本操作の習得が未熟である。		



2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
立体裁断4		松山 由未	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
立体裁断による表現実習、モードディテール研究と演習			
学習到達目標			
作品表現のための応用技術の修得			
学習上の助言			
モードの名作の中からパターンが特徴的な作品を紹介していきます。 表現力と同時に創造力も磨いていきましょう			
教科書及び教材			
洋裁用具、製図用具、鉛筆、3色ボールペン、ノート、他必要に応じて授業内で告知			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	シルエットとディテール1	《ディテール研究》	
2	シルエットとディテール2	《ディテール研究》	
3	シルエットとディテール3	《ディテール研究》	
4	シルエットとディテール4	《ヒストリカルパターン》	
5	シルエットとディテール5	《ヒストリカルパターン》	
6	シルエットとディテール6	《モードコピー》	
7	シルエットとディテール7	《モードコピー》	
8	シルエットとディテール8	《モードコピー》	
成績評価の目安と方法			
技術修得、課題提出、受講姿勢を総合的に評価。 受講回数が2/3未満の場合もしくは理解不足と考えられる場合、再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	立体裁断と平面製図の互換性をよく理解、反映し、適切なピンワークで表現できる		
B	立体裁断と平面製図の互換性を理解し、適切なピンワークで表現できる		
C	立体裁断の特性を理解し、ピンワークで表現できる		
D	ピンワークに未熟な点が多く見られる、課題の未提出、受講状況に問題がある		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
帽子製作		日田 泰造	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
自分でデザインした帽子の製作。専門的な知識と技術の学習。ショウでのトータルコーディネート。			
学習到達目標			
自分のイメージしたデザインを厳密により正確に早く美しく仕上げる。授業時間内、二個の作品の完成。			
学習上の助言			
より豊富なデザインのアイデアと知識と製作における工夫の発展。ショウ作品。			
教科書及び教材			
スケッチブック、着色材一式、メジャー。各自製作用素材。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	説明～実習	サンプルの解説、素材の解説、道具の解説、作業工程解説、デザイン	
2	製作作業	型入れ、および製図、型紙作成。	
3	製作作業	製作作業	
4	製作作業	製作作業	
5	製作作業	製作作業	
6	製作作業	製作作業	
7	製作作業	製作作業	
8	製作作業	製作作業～完成。	
成績評価の目安と方法			
技術力、理解力、課題提出、出席状況を総合的に評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	道具の使用法を理解しデザインに適合した素材を選び正確に美しく期日までに仕上げた。		
B	道具の使用法を理解し作品を期日までに仕上げた。		
C	作品を期日までに仕上げた。		
D	道具、作業工程や素材選び、及び取り扱いなど未熟であるが、作品を期日までに仕上げた。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
インターンシップ		小西 広実 ・ 小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	2
授業概要			
企業で業務体験をし、企業側から評価を受ける授業です。自身の長所短所、希望業務の適性を計る機会にもなります。			
学習到達目標			
新入社員レベルで従事できる意識と行動レベルまで習得を目指します。			
学習上の助言			
専門的知識、技術のほかに社会人基礎力が求められる場です。意識してのぞんでください。			
教科書及び教材			
実習報告書 インターン先企業より指示があります。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	参加する上での注意事項、必要書類の記入指導	
2	参加準備	参加準備として受け入れ先企業の情報を収集し基礎知識を蓄える	
3	インターン実施	企業でインターンシップ	
4			
5	実習報告書記入	実習報告書記入	
6	インターン終了		
7	企業からの評価	企業からの評価フィードバック面談	
8	まとめ	結果報告会	
成績評価の目安と方法			
企業側担当者による 総合評価			
【評価項目 勤務態度 積極性 探究心 対人関係 理解力 行動力 責任感 所見】			
評価	成績評価別の到達度		
A	企業担当者による総合評価	A取得であり評価項目は全てAである	
B	企業担当者による総合評価	A取得であるが、評価項目にB評価を含んでいる	
C	企業担当者による総合評価	B取得	
D	企業担当者による総合評価	C取得	

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コンテストコーチング		奈良 将之	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
特別実習	実習	アパレルプロフェッショナル科2年生 ファッションスタイリング科2年生	1
授業概要			
各種デザインコンテストに入選する為のノウハウ、アパレルデザインの考え方を身につけます。			
学習到達目標			
デザインコンテストへの挑戦			
学習上の助言			
いよいよ各種コンテストにチャレンジします。 クリエイターになる夢が実現出来るように頑張りましょう。			
教科書及び教材			
過去受賞作品及び受賞例参考書			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	概要説明	各種コンテストの特徴と応募について	
2	コンテストデザインの考え方 1	コンテストデザインの考え方	
3	コンテストデザインの考え方	素材とデザイン	
4	デザイン画実習	個別デザイン実習～相談～修正	
5	デザイン画実習	個別デザイン実習～相談～修正	
6	デザイン画実習	個別デザイン実習～相談～修正	
7	デザイン画実習	個別デザイン実習～相談～修正	
8	デザイン画実習	個別デザイン実習～相談～修正	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	コンテストデザインの考え方を十分に理解している 自分が目標とするコンテストへのエントリー達成		
B	コンテストデザインの考え方をおおまかに理解している		
C	コンテストデザインの考え方を最低限理解している		
D	特定の技術習得ができていない		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
モデルウォーキング2		walking posing school Harscente (ハルシェンテ)	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
特別実習	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
incubate collection においてモデルとしてステージに立つために必要な、作品イメージを表現をするウォーキングを身につけます。			
学習到達目標			
ランウェイでの表現力習得			
学習上の助言			
身体の動きとしてウォーキング、ポージングの習得だけでなく、作品を表現する姿勢も重要です。授業ではその部分の指導もしていきます。			
教科書及び教材			
体の動きがわかやすい体の線がわかる服で受講し、作品に合わせた練習用の靴を持参してください。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	基本姿勢の練習	ガイダンス 基本姿勢の説明～練習	
2	基本ウォーキング練習	美しく歩く基本ウォーキングの説明～練習	
3	基本ウォーキング練習	美しく歩く基本ウォーキングの練習 個別指導	
4	ウォーキングレッスン	作品に合わせたウォーキングを指導	
5	ウォーキングレッスン	本番での使用曲に合わせてのウォーキング練習 個別指導	
6	ウォーキングレッスン	本番での使用曲に合わせてのウォーキング、ポージング練習 個別指導	
7	学内リハーサル	ランニングオーダーに沿ってリハーサルを実施～修正指導	
8	学内最終リハーサル	本番前の最終リハーサル	
成績評価の目安と方法			
受講姿勢、ウォーキング、ポージングの習得状況を総合的に判断			
評価	成績評価別の到達度		
A	積極的姿勢で受講し、作品のイメージに合ったウォーキング、ポージングを習得し、見る側を魅了するレベルである		
B	積極的姿勢で受講し、作品のイメージに合ったウォーキング、ポージングを習得		
C	作品のイメージに合ったウォーキング、ポージングを習得		
D	担当作品のイメージを理解したウォーキング、ポージングの習得が曖昧		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
キャンパスサポート2		小倉 展伸・奈良 将之・鈴木 あかり	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
特別実習	実習	ファッションスタイリング科2年 アパレルプロフェッショナル科2年	2
授業概要			
本校の体験入学において接遇を学ぶ機会であり、人格教育としての面もあります。初対面の相手と和やかな会話を交わし、相手への気遣いを身につけていきます。			
学習到達目標			
初対面の相手と和やかな会話を交わし、相手へ遣いが出来るレベルを身につけてください。1年生をリードしていくことが出来ることも目指してください。			
学習上の助言			
学内で行うインターンシップとしてのぞんでください。担当日は責任をもって出席し、体調不良などの理由で遅刻、欠席の場合は速やかな報告をしてください。			
教科書及び教材			
必要に応じて担当教員から指示をします。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	参加する上での注意事項の説明 評価項目についての説明	
2	マナー講座①	体験入学における接遇の理解	
3	体験入学当日	朝礼9:00 実習のサポート、昼食、誘導、お見送り等	
4	マナー講座②	再確認	
5	マナー講座③	スキルアップ	
6	体験入学当日	朝礼9:00 実習のサポート、昼食、誘導、お見送り等	
7	レポート作成	反省会	
8	評価	各自へ評価結果を口頭で伝えます。	
成績評価の目安と方法			
評価項目 積極性 理解力 行動力 責任感 気遣い 礼儀 6項目を総合的に評価 【総合評価はA B Cの3ランクで評価】			
評価	成績評価別の到達度		
A	総合評価はA取得であり評価項目は全てAである		
B	総合評価はA取得であるが、評価項目にB評価を含んでいる		
C	総合評価 B取得		
D	総合評価 C取得		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コレクションスタッフ		教務部	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
特別実習	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
『incubate collection』ファッションショー実施のための準備・運営を行います。			
学習到達目標			
ひとつの目標に向け、組織として行動をします。責任感、行動力、協調性などの社会人基礎力を養い、現場で役立つ人材を目指します。			
学習上の助言			
各ポジションのスタッフは希望者を募り、担当教員による協議のもと決定をしますが、学校での生活や授業態度等を見て、担当教員からの推薦で決定する場合があります。			
教科書及び教材			
担当教員より、進行に伴い必要に応じて指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	各ポジションごとに集まり、授業目的や行動上の注意事項を確認。	
2	工程チェック運営	トワルチェックやスタイリングチェックなどの準備・運営	
3	最終リハーサル	学内での最終リハーサルの実施	
4	搬入準備	会場に搬入する備品の準備。	
5	リハ実施	バックステージの設営～リハーサルの実施。	
6	ファッションショー本番	本番の運営。	
7	撤収作業	バックステージの撤収、備品運搬。	
8	まとめ	自身の行動の反省をします。	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、受講姿勢、出席率、組織の一員としてしかるべき行動がとれるかななどをふまえて、総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力を備え、指示系統を守りしかるべき判断を仰げるなど、組織の一員としての行動が出来る。また、臨機応変な対応が出来る。		
B	社会人基礎力を備え、指示系統を守りしかるべき判断を仰げるなど、組織の一員としての行動がおおむね出来る。		
C	社会人基礎力を備え、組織の一員としての行動が最低限出来る。		
D	組織の一員としての自覚が欠如している場合や、相応しくない行動がみられた場合。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリング1		小峰 有華 ・ 高橋 怜那	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科1年	4
授業概要			
業務に必要な専門知識から商品の製作工程まで含めたアパレル業界で働く上で必要な知識を身につけます。製作工程に関しては実際にアイテムを制作していきます。			
学習到達目標			
覚えた知識を他者とのコミュニケーションをとる際に使うことができる。			
学習上の助言			
技術の習得に偏らず、使える知識を身につけることが目的です。製作ではものづくりの楽しさも味わって下さい。			
教科書及び教材			
ファッションビジネス能力検定試験3級準拠 ファッション辞典 ソーイングセット 筆記具 デザイン画が描ける準備 その他必要に応じて指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	知識習得	基礎用語や知識の習得（ファッションコーディネート）	
～5	知識習得	基礎用語や知識の習得（ファッション商品知識）	
6	パンツ製作	製作工程説明	
7	パンツ製作	裁断	
～24	パンツ製作	縫製	
25	パンツ製作	完成作品のプレゼンテーション	
26	商品企画	企画立案実習	
～30	商品企画	企画立案実習～プレゼンテーション	
成績評価の目安と方法			
知識習得（20点）アイテム製作（60点）商品企画（20点）合計100点 授業姿勢、提出課題を評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	授業に積極的に参加し、製作アイテムが完成し、得た知識をプレゼンテーションに生かしている。		
B	授業に積極的に参加し、製作アイテムが完成し、知識の習得とボトムスの理解が概ね出来ている。		
C	授業に参加し、知識の習得とボトムスの理解が概ね出来ている。		
D	授業参加に消極的であり、知識の習得とボトムスの理解が未熟である。		



2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリング2		小峰 有華 ・ 高橋 怜那	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科1年	4
授業概要			
業務で必要な専門知識から商品の製作工程まで含めたアパレル業界で働く上で必要な知識を身につけます。製作工程に関しては実際にアイテムを制作していきます。			
学習到達目標			
トップスの理解、覚えた知識を他者とのコミュニケーションをとる際に使うことができる。			
学習上の助言			
技術の習得に偏らず、使える知識を身につけることが目的です。製作ではものづくりの楽しさも味わって下さい。			
教科書及び教材			
ファッションビジネス能力検定試験2級準拠 ファッション辞典 ソーイングセット 筆記具 デザイン画が描ける準備 その他必要に応じて指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	知識習得	基礎用語や知識の習得（ファッション文化・デザイン文化）	
～5	知識習得	基礎用語や知識の習得（ファッション商品知識）	
6	シャツ製作	製作工程説明	
7	シャツ製作	裁断	
～24	シャツ製作	縫製	
25	シャツ製作	完成作品のプレゼンテーション	
26	商品企画	商品企画立案実習	
～30	商品企画	商品企画立案～プレゼンテーション	
成績評価の目安と方法			
知識習得（20点）アイテム製作（60点）商品企画（20点）合計100点 授業姿勢、提出課題を評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	授業に積極的に参加し、製作アイテムが完成し、得た知識をプレゼンテーションに生かしている。		
B	授業に積極的に参加し、製作アイテムが完成し、知識の習得とトップスの理解が概ね出来ている。		
C	授業に参加し、知識の習得とトップスの理解が概ね出来ている。		
D	授業参加に消極的であり、知識の習得とトップスの理解が未熟である。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリング3		小峰 有華 ・ 高橋 怜那	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科1年	4
授業概要			
業務で必要な専門知識から商品の製作工程まで含めたアパレル業界で働く上で必要な知識を身につけます。製作工程に関しては実際にアイテムを制作していきます。			
学習到達目標			
上着の理解、覚えた知識を他者とのコミュニケーションをとる際に使うことができる。			
学習上の助言			
技術の習得に偏らず、使える知識を身につけることが目的です。製作ではものづくりの楽しさも味わって下さい。			
教科書及び教材			
ファッションビジネス能力検定試験2級準拠 ファッション辞典 ソーイングセット 筆記具 デザイン画が描ける準備 その他必要に応じて指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	知識習得	基礎用語や知識の習得（ファッションコーディネート）	
～5	知識習得	基礎用語や知識の習得（ファッション商品知識）	
6	コート製作	製作工程説明	
7	コート製作	裁断	
～24	コート製作	縫製	
25	コート製作	完成作品のプレゼンテーション	
26	商品企画	商品企画立案実習	
～30	商品企画	商品企画立案～プレゼンテーション	
成績評価の目安と方法			
知識習得（20点）アイテム製作（60点）商品企画（20点）合計100点 授業姿勢、提出課題を評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	授業に積極的に参加し、製作アイテムが完成し、得た知識をプレゼンテーションに生かしている。		
B	授業に積極的に参加し、製作アイテムが完成し、知識の習得と上着の理解が概ね出来ている。		
C	授業に参加し、知識の習得と上着の理解が概ね出来ている。		
D	授業参加に消極的であり、知識の習得と上着の理解が未熟である。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションコーディネート1		岩崎 清美・本間 昭子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・実習	ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
撮影実習から学ぶスタイリングとヘア・メイクの相乗効果を考えるファッションコーディネート			
学習到達目標			
スタイリング：全身トータルでファッションの提案アドバイスができる ヘアメイク：目的に合ったスタイルの構想			
学習上の助言			
スタイリング：ファッションは楽しくをモットーに、質問は沢山してください。 ヘアメイク：イメージーションへの導き			
教科書及び教材			
ファッションラボ、ファッション雑誌、インテリア雑誌他印刷物、はさみ、カッターナイフ、のり、定規、スケッチブック、必要に応じた文房具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	「ファッションとは」	「トータルコーディネイト」概論 ファッション分析	
2	ヘア&メイクアップ概論	「トータルコーディネイトにおけるヘア&メイクアップ」概論 コンセプトとヘアメイクアップ	
3	「TPO」分析-1	冠婚葬祭 コーディネイトテクニック	
4	ショートヘア	ショートヘアのヘア&メイクアップ コラージュ作成 授業終了時 提出	
5	「イメージ」分析-1	イメージキーワードの説明 キワードによる自己ファッション分析 マップ制作	
6	ミディアムヘア	ミディアムヘアのヘア&メイクアップ コラージュ作成 授業終了時 提出	
7	2017年S/Sトレンドファッション分析	トレンドファッションの提案 マップ制作	
8	ロングヘア	ロングヘアのヘア&メイクアップ コラージュ作成 授業終了時 提出	
9	「系統」分析-1	系統の説明・考察 マップ制作	
10	イメージ別キーワード	イメージ別キーワードのヘア&メイクアップ コラージュ作成 授業終了時 提出	
11	「系統」-2	系統ファッション・プレゼンテーション イメージ&系統コーディネイト考察	
12	系統別キーワード	系統別キーワードのヘア&メイクアップ コラージュ作成 授業終了時 提出	
13	「イメージ&系統」分析	イメージ&系統コーディネイトの考察 グループワーク イメージボード制作	
14	冠婚葬祭	冠婚葬祭のヘア&メイクアップ コラージュ作成 授業終了時 提出	
15	「まとめ」	TPO・系統・イメージのまとめ トータルコーディネイト グループ・プレゼンテーション	
成績評価の目安と方法			
スタイリング：授業態度、制作物に取り組む姿勢、トータルファッションの修得。 ヘアメイク：課題によるヘアメイクのイメージ力とその知識の修得30点、受講姿勢5点。			
評価	成績評価別の到達度		
A	80%以上出席、課題の仕上がり状態が優良または良、それぞれのファッション・ヘアメイクイメージを修得できた。		
B	60%以上出席、課題の仕上がり状態が良、それぞれのファッション・ヘアメイクイメージを修得できた。		
C	60%以上出席、課題の仕上がり状態が可、それぞれのファッション・ヘアメイクイメージを修得できた。		
D	60%以上出席、課題の仕上がり状態が可または未提出、それぞれのファッション、ヘアメイクイメージの不修得。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレル技術1		室谷 浩子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
アパレルの現場で必要である基本的な縫製技術と基礎用語を習得する。			
学習到達目標			
洋裁用具、素材、副資材の基礎知識と基本縫製技術の習得。			
学習上の助言			
実習を行う中で、洋裁用具の扱い方や服飾専門用語も学習していきます。			
教科書及び教材			
縫製技術マニュアル、ソーイングセット、A4ファイル、他授業内でレジュメ配布			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業進行、評価基準、生地と地の目について、規格	
2	用具と副資材	製図用具、洋裁用具、服飾資材、アイロン、ミシン、ロックミシンについて	
3	人体とパターン	基本部位名称、人体と人台の関係性、パターンメイキングの手法	
4	基本的なミシンの扱い方	直線縫い、角縫い、曲線縫い、ロックミシン	
5	基本的な手縫い	しつけ、まつり各種	
6	応用（バッグ製作）	始末の応用（折伏せ縫い・袋縫い）	
7	応用（バッグ製作）	明きの応用（ファスナー付け・ホック・スナップ付け）	
8	応用（バッグ製作）	ポケットの応用（パッチポケットなど）	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、受講態度、出席率を総合的に評価する。 出席回数が2/3未満の場合もしくは提出課題未了の場合は再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	基本技術をよく理解し積極的に取り組み、的確かつ迅速に課題を完成させた。		
B	基本技術を理解し積極的に取り組み、的確に課題を完成させた。		
C	基本技術を理解し取り組み、課題を完成させた。		
D	基本技術を理解しておらず、課題も未完成。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンメイキング1		小峯 有華	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
スタイリング1、2、3で製作するアイテムのパターン理解			
学習到達目標			
トップス、ボトムスのパターン理解			
学習上の助言			
技術の習得に偏らずパターンの理解			
教科書及び教材			
担当教員より必要に応じて指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	パンツ	ボトムスのパターンを理解	
2	パンツ	形状やパーツ名称の理解	
3	シャツ	シャツのパターンを理解	
4	シャツ	シャツのパターンを理解	
5	シャツ	形状やパーツ名称の理解	
6	コート	コートのパターンを理解	
7	コート	コートのパターンを理解	
8	コート	形状やパーツ名称の理解	
成績評価の目安と方法			
授業姿勢、知識習得状況の評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	授業に積極的に取り組み各アイテムのパターン形状とパーツ名称を理解した。		
B	授業に積極的に取り組み各アイテムのパターン形状とパーツ名称を概ね理解した。		
C	授業に参加し各アイテムのパターン形状とパーツ名称の理解が不足している。		
D	授業の参加状況が悪く、各アイテムのパターン形状とパーツ名称の理解が未熟である。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ビジネスマナー		福田 敬子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
知識としての習得と行動ができることを目指し、授業は講義と演習で行なっていきます。			
学習到達目標			
新入社員レベルの企業人としての姿勢、言葉使いを身につける。			
学習上の助言			
この授業で身につけた事は、まず初めに就職活動の際に必要なものです。その場になって困る事のない様、しっかり身につけてください。また、社会人となった後も役立つ事は確実です。意欲的に受講してください。			
教科書及び教材			
授業のたびに資料プリントを配布します。 筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ビジネスマナー入門	・マナーとは何かを考える・マナーの歴史・本校のマナーに対する取り組み意識	
2	企業とは？	・社会人の心構え 社会人と学生の違い・社会人として求められるもの	
3	企業の中でのルールとは？	・現在の労働状況を取り巻く事情 働き方・・・アルバイト・パートも社保加入？	
4	【言葉遣い】	【敬語各種 1】 具体的な言い換え練習	
5	【言葉遣い】	【敬語各種 2】 クッション言葉	
6	【言葉遣い】	【敬語各種 3】 『名詞』 具体的な言い換え練習	
7	【言葉遣い】	【敬語各種 1】 小テスト 20分	
8	【言葉遣い】	会社の看板としての対応基礎 【電話対応】	
9	【言葉遣い】	お客様に対する言い換え	
10	【言葉遣い】	クレームを受ける	
11	【面接に行く！】	・教える前に、ペアで挨拶してみる・お辞儀の種類・挨拶・・・言葉遣い、お辞儀・入退出	
12	【面接に行く！】	・面接の準備基礎・身だしなみ	
13	【面接に行く！】	実践練習 1	
14	【面接に行く！】	実践練習 2	
15	【面接に行く！】	実践練習 3 総括復習	
成績評価の目安と方法			
筆記試験による成績評価 60点以上で単位取得			
評価	成績評価別の到達度		
A	筆記試験81～100点		
B	筆記試験71～80点		
C	筆記試験60～70点		
D	筆記試験59点以下		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ヘアメイク1		本間 昭子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	実習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
ヘアスタイリングとメイクアップの基礎的概論及び基礎的技術実習			
学習到達目標			
毛髪、皮膚の基礎知識を通してベーシックなヘアスタイリングとメイクアップの技術を修得する。			
学習上の助言			
ヘアメイク実習を通し、手順をしっかりと修得することが美しく仕上げる基本になります。わからない点はその時点で質問し、確実に修得しましょう。			
教科書及び教材			
【配布物品】 デンマンブラシ、テールコーム、ダックカーブピン、メイク用筆類、スポンジ、パフ、ロケットチップ、エポニーペンシル、化粧水、乳液、エタノール、綿棒、コットン、ポケットティッシュ【共同使用学内物品】 ヘアメイク用品一式			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ヘアスタイリング概論・スキンケア概論・実習	毛髪・皮膚の基礎知識、ヘアメイク道具説明、クレンジング、マッサージ	
2	メイク実習	【ベーシックメイク】 ベース（基本的配色・補色）、アイブロー	
3	メイク実習	【ベーシックメイク】 アイ、チーク、リップ	
4	イメージワーク概論・イメージワーク	【ベーシックヘア】 イメージスタイリング【イメージワーク】 春のヘアメイクコラージュ	
5	ヘアメイク実習・イメージワーク	【ヘアメイク実習】 春【イメージワーク】 夏のヘアメイクコラージュ	
6	ヘアメイク実習・イメージワーク	【ヘアメイク実習】 夏【イメージワーク】 秋のヘアメイクコラージュ	
7	ヘアメイク実習・イメージワーク	【ヘアメイク実習】 秋【イメージワーク】 冬のヘアメイクコラージュ	
8	ヘアメイク実習・イメージワーク	【ヘアメイク実習】 冬【イメージワーク】 朝・夜コラージュ	
成績評価の目安と方法			
知識、技術、受講姿勢を総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	80%以上出席、ヘアスタイリング及びメイクアップ技術を修得できた。		
B	60%以上出席、ヘアスタイリング及びメイクアップ技術を大まかに修得できた。		
C	60%以上出席、ヘアスタイリング及びメイクアップ技術を部分的に修得できた。		
D	60%未満出席、ヘアスタイリング及びメイクアップ技術の不修得。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリストトレーニング1		岩崎 清美	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	講義・実習	ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
スタイリスト及びアシスタントの即戦力となる、概念・実技を学ぶ			
学習到達目標			
スタイリストの知識と技術の修得			
学習上の助言			
どんどん質問し、現場での即戦力となる知識と技術を学んで欲しい。			
教科書及び教材			
スタイリストの七つ道具、他			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	スタイリストの仕事	概要説明	
2	スタイリストのコーディネート論	サイズの測り方	
3	コーディネートテクニック	小物のアレンジ	
4	コーディネートテクニック	ホワイトコーデ	
5	コーディネートテクニック	テーマ編	
6	コーディネートテクニック	テーマ編	
7	靴の底張り	実習	
8	七つ道具	タグ管理	
9	パンツの裾上げ	実習	
10	ショップリサーチプレゼン	ショップリサーチプレゼン	
11	コーディネートテクニック	テーマ編	
12	体型別コーデ	体型別コーデ	
13	コーディネートテクニック	体型別コーデ実習編	
14	コーディネートテクニック	切り抜きコーデ	
15	コーディネートテクニック	面接コーデ	
成績評価の目安と方法			
授業態度、出席率、プレゼンテーション			
評価	成績評価別の到達度		
A	スタイリストとしての知識・技術を修得し、オリジナルスタイリング提案ができる		
B	スタイリストとしての知識・技術を修得し、スタイリング提案ができる		
C	スタイリストとしての知識・技術を理解できる		
D	スタイリストとしての知識・技術を部分的に修得し、理解する事ができた		



2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションビジネス2		奈良 将之	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	講義・演習	ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
<p>ファッションビジネス検定2級合格を目指します。            また、進歩・変革し続け、絶えざる創造を必要とするファッションビジネスの世界で活躍する際に必要となる専門的な知識を身につけ、将来活躍するアパレル企業・業界にて活躍出来るように備えます。</p>			
学習到達目標			
ファッション業界に必要な基礎用語や知識の習得。FB検定2級取得。			
学習上の助言			
アパレル業界で即戦力として幅広く活躍出来るように知識を身につけましょう。			
教科書及び教材			
<p>ファッションビジネス能力検定試験2級準拠            ファッション辞典 服地がわかる事典</p>			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ファッション・ビジネスの特性	ファッションビジネスの事業特性 変遷 環境変化 近年動向	
2	ファッション生活・消費 1	ファッション消費行動を形成する要素	
3	ファッション生活・消費 2	ファッション消費の変遷と現在	
4	計算問題演習1	係数を理解する1	
5	ファッション産業構造	グローバルな視点でとらえたアパレル産業	
6	計算問題演習2	係数を理解する2	
7	マーケティング 1	ファッション消費行動を形成する要素	
8	マーケティング 2	ファッション消費の変遷と現在	
9	計算問題演習3	係数を理解する3	
10	マーチャンダイジング 1	アパレルマーチャンダイジングとリテールマーチャンダイジング	
11	マーチャンダイジング 2	ファッション情報の収集・分析 価格と原価	
12	計算問題演習4	係数を理解する4	
13	模擬試験	ファッション・ビジネスの特性～マーチャンダイジングまでの模擬試験	
14	模擬試験 解答・解説	解答 解説	
15	模擬試験対策	傾向 対策	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率を総合的に評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	ファッションビジネス(MDまで)、造形(素材、副資材まで)とも2級の知識を充分に身につけている。		
B	ファッションビジネス(MDまで)、造形(素材、副資材まで)とも2級の知識をおおまかに身につけている。		
C	ファッションビジネス(MDまで)、造形(素材、副資材まで)とも2級の知識を最低限身につけている。		
D	特定の知識習得が出来ていない		

## 2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ショップマネジメントⅠ		小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	実習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
<p>期間限定ショップの準備から実施まで行う授業です。前年度の振り返りから課題を見つけ、今年度の自分たちの目標設定し、それに向けての施策を計画し、実行していきます。1年生は次年度に向けて自分たちが実施する上で経験を積むつもりで参加してください。</p>			
学習到達目標			
<p>仕事をする上で必要な、組織として目標達成のために自分自身に何ができるかを考え、行動する力を身につけます。</p>			
学習上の助言			
<p>行事ではなくPDCAの実践の授業です。問題に直面することが多くありますが、考え行動し、物事を前に進めていく力を身につけてください。また、2年生の指示で動く場合も多くあります。よく説明を聞いて行動してください。</p>			
教科書及び教材			
<p>設定した目標達成のために、学内備品または各自が使えるものはすべてを有効に使ってください。</p>			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	目標の認識	今年度の目標の理解。	
2	目標の認識	今年度の目標の理解。	
3	施策の理解	組織における各ポジションの理解。	
4	中間報告会①	ポジションごとに施策案の事前の最終報告に参加し、今後の動き方の理解を深めます。	
5	施策実行	PDCAサイクルに基づき、施策実行し問題解決にむけ行動します。	
6	中間報告会②	オープン前の最終会議に参加し、最終の進捗を確認します。	
7	販売活動①	各担当日ごとに運営します。	
8	}	{	
9	販売活動①	各担当日ごとに運営します。	
10	検証会議	オープン後、数日経過したところで出てきた問題点や成果を検証し、修正を行います。	
11	販売活動②	検証会議を踏まえて販売活動を行います。	
12	}	{	
13	販売活動②	検証会議を踏まえて販売活動を行います。	
14	最終報告会	今回参加した学生全員が参加して結果報告会の実施。	
15	評価	総括レポートの作成。教員からの評価。	
成績評価の目安と方法			
<p>授業内で説明するルーブリックに沿って評価します。</p>			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力が十分に身につけ積極的に販売活動が出来るレベルである。		
B	社会人基礎力と販売能力が身につけ行動できるレベルである。		
C	社会人基礎力と販売能力は身につけつつあるが不十分な部分もある。		
D	社会人基礎力と販売能力の習得はまだ未熟で発展途上である。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションリテール		株式会社レイ・カズン 佐藤 綾子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	実習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
企業の販売員養成のカリキュラムを行います。授業後半では接客のロールプレイングを行い、知識だけでなく実践し接客方法の習得まで行います。			
学習到達目標			
販売業務理解と接客術の習得			
学習上の助言			
企業と学校が連携で行う販売員養成のための授業です。社会に出て直接的に役立つ授業となっています。モチベーションを高めて望んでください。			
教科書及び教材			
各授業ごとにレジメを配布します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	自己紹介	自己紹介 基本的な接客方法の説明	
2	笑顔の作り方	挨拶練習～笑顔の作り方	
3	商品知識について	商品知識について セールストーク	
4	お客様心理	来店客の心理状態と行動の移り変わり」について ロープレ体験	
5	振り返り	ここまでの振り返り わからないことの確認～購買心理	
6	お客様心理	「来店客の心理状態と行動の移り変わり」～ロープレ体験	
7	「商品のポイントを伝える練習」	また会いたい販売員になる「自分のキャラ設定をしてみよう！」～ロープレ体験	
8	ロールプレイング練習	個人ごとにロープレを体験～授業のまとめ	
成績評価の目安と方法			
笑顔、挨拶、ロールプレイングで学んできたことが生かされているか。販売トレーナーからの視点で評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	笑顔を絶やさず、設定したキャラクターでお客様の心理を考えながらロールプレイングを行えた。		
B	笑顔を絶やさず、設定したキャラクターでロールプレイングを行えた。		
C	ロールプレイングに参加した。		
D	ロールプレイングに参加していない。		

## 2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
販売士検定 2 級対策講座		福田 誠一	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義・実習	ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
<p>①テキスト本位の単なる「受験対策講座」ではなく、テキストの内容を実在する企業のケース事例や戦略に例えて解説講義を実施。誰もが知っている具体的な有名企業の事例として説明することで、より分かりやすく、より興味を持たせる授業を実施。</p> <p>②試験直前対策として、「出題予想模擬試験」及び「解答解説講義」を実施。</p>			
学習到達目標			
販売業務全般の理解。販売士検定2級取得。			
学習上の助言			
平均点70点以上が合格です。			
教科書及び教材			
講義用教材として出題率80%以上と規定されている「販売士2級ハンドブックセット（日本商工会議所編集）」を使用。 その他の配布用教材 ①講義毎レジュメ ②重要キーワードチェックリスト③出題予想模擬試験問題、及び解答解説集			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	小売業の種類	・流通と小売業の役割 ・流通経路政策	
2	小売業の種類	・組織形態別小売業の運営特性 ・店舗形態別小売業の運営特性	
3	小売業の種類	・チェーンストアの目的と運営 ・商業集積の運営特性	
4	マーチャンダイジング	・仕入計画の立案と運用システム ・戦略的商品計画の立案	
5	マーチャンダイジング	・価格設定の方法 ・商品管理の実際	
6	マーチャンダイジング	・販売計画の立案と管理 ・小売業の物流システム	
7	ストアオペレーション	・店舗運営サイクルの実践と管理 ・戦略的購買促進の実施方法	
8	ストアオペレーション	・戦略的ディスプレイの実施方法 ・レイバースケジュールリングプログラムの役割としくみ	
9	マーケティング	・小売業のマーケティングミックス ・マイクロマーケティングの展開方法	
10	マーケティング	・マーケティング戦略の方法・マーケティングリサーチの実施方法・商圏分析の立案と実施方法	
11	マーケティング	・出店戦略の立案と実施方法 ・販売促進策の企画と実践	
12	直前対策	・模擬試験問題の解答解説 （小売業の種類）	
13	直前対策	・模擬試験問題の解答解説 （マーチャンダイジング/ストアオペレーション）	
14	直前対策	・模擬試験の解答解説 （マーケティング）	
15	直前対策	・模擬試験の解答解説	
成績評価の目安と方法			
出席評価、受講状況と検定試験平均点の合計点で評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	販売士 2 級検定試験 平均点 70 点以上取得		
B	販売士 2 級検定試験 平均点 60 点以上取得		
C	販売士 2 級検定試験 平均点 50 点以上取得		
D	販売士 2 級検定試験 平均点 49 点以下取得		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
英会話		スチュワート カワツブ	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
自由選択	講義・演習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
ネイティブの講師による売り場で使える英会話の授業です。			
学習到達目標			
外国人のお客様と積極的に英語で商品説明やコミュニケーションをとることができることを目標に行います。			
学習上の助言			
講師との会話を重ね習得します。集中力を高めて授業に臨む姿勢が必要です。			
教科書及び教材			
必要に応じて資料を配布します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	お迎え 挨拶	お迎え 挨拶を学びます。	
2	色を伝える	色についての説明を学びます。	
3	形やデザインを伝える	形やデザインについての説明を学びます。	
4	サイズを伝える	サイズについての説明を学びます。	
5	素材を伝える	素材についての説明を学びます。	
6	試着をすすめる	試着のすすめ方、試着後の対応を学びます。	
7	簡単なコミュニケーション会話	売り場での使える簡単なコミュニケーション会話を学びます。	
8	テスト	確認テストを実施します	
成績評価の目安と方法			
毎回の授業への出席、参加姿勢と習得状況のチェックで評価していきます。			
評価	成績評価別の到達度		
A	授業内で学んだ英語を活かした接客を積極的に行うことができる。		
B	英語を積極的に使ってコミュニケーションをとる姿勢を身につけている。		
C	全ての授業に参加した。		
D	2 / 3 以上の授業に参加した。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ヘアメイクスタッフ1		本間 昭子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
特別実習	実習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
『incubate collection』のヘアメイクスタッフとなり、モデルのヘアスタイリングとメイクアップを行う授業です。作品ごとのプランニング、練習、各チェックごとの修正を経て、本番にのぞみます。			
学習到達目標			
作品のイメージを理解したヘアメイクのプランニングと実施をし、トータルコーディネートの審美眼を養います。			
学習上の助言			
ヘアメイクの技術だけでなくコレクションを成功させるための意欲と行動が必要です。学生間の協力や協調性が重要になりますので意識してのぞんでください。			
教科書及び教材			
【各自持参物品】メイク用筆類、タオル2本、ヘアスタイリング及びメイクアップ用品 【共同使用学内物品】ヘアメイク用品一式			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	イメージ理解	作品のイメージを理解し、ヘアメイクのプランを組み立てます。	
2	練習	ヘアメイクのプランを実際に行います。	
3	練習	メイクプランを実際に行います。	
4	練習	メイクプランを実際に行います。	
5	スタイリングチェック	実際のモデル、服でヘアメイクを行います。(スタイリングチェック準備)	
6	スタイリングチェック	服、ヘア、メイクをトータルバランスでチェックします。	
7	修正作業	トータルバランスでチェックした後に、修正箇所を手直しします。	
8	最終チェック	修正箇所を手直しした後に、再度トータルバランスでチェックします。(準備・完成確認)	
成績評価の目安と方法			
受講姿勢、作品イメージの理解力、ヘアメイクの技術力、責任感、協調性を総合的に評価する。			
評価	成績評価別の到達度		
A	コレクションの成功に向けて意欲的に取り組み、担当作品が映えるヘアメイクを完成させた。		
B	コレクションの成功に向けて意欲的に取り組み、担当作品のヘアメイクを完成させた。		
C	担当作品のヘアメイクを完成させた。		
D	担当作品のヘアメイクを完成させられなかった。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリストワーク1		片桐 芳子・小倉 展伸・鈴木 あかり	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科2年	4
授業概要			
期間限定ショップに向けた商品製作課題です。デザインから縫製まで自ら行います。前半の8回は企画デザイン、その後の22回はパターン、縫製等の製作の時間として使います。			
学習到達目標			
販売時期やファッショントレンドを考慮した商品を製作し、出来上がった商品の価値を明確に説明できることを目標とする。			
学習上の助言			
期間限定ショップに向けた商品製作課題です。リメイクの手法も取り入れて構いません。ファッションスタイリング科らしいオシャレ感の高いファッション提案をして下さい。			
教科書及び教材			
担当教員より、進行に伴い必要に応じて指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	企画デザイン1	期間限定ショップの目的説明～何をやるべきかの理解を促す	
27	企画デザイン2	各自のデザイン製作～個別指導、技術相談	
8	企画デザイン3	クラス内での企画内容プレゼンテーション	
9	製作相談	使用素材や製作方法についての個別相談	
11~	裁断 縫製	各自作業	
20	途中段階でのチェック	進行状況の確認	
29	完成チェック	企画・製作意図及び完成度をチェックする。	
30	終了レポート提出	次回の課題に生かす為、行ってきた事と反省をレポートにまとめる	
成績評価の目安と方法			
企画段階50点・製作段階50点の合計点で評価（評価ポイント知識・技術の習得、授業姿勢、作品のクオリティ）			
評価	成績評価別の到達度		
A	時代感を感じさせ、且つ個性的なファッション商品を生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
B	個性的なファッション商品を生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
C	授業に参加し、個性的なファッション商品を生み出すことができた。		
D	授業に参加し、ファッション商品を生み出すことができた。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリストワーク2		片桐 芳子・小倉 展伸・鈴木 あかり	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科2年	4
授業概要			
コレクション作品の製作課題です。デザインから縫製まで自ら行います。前半の8回は企画デザイン、その後の2回はパターン、縫製等の製作の時間として使います。			
学習到達目標			
トータルコーディネートでプランニングした作品を製作し、出来上がった作品のポイントを説明できることを目標とする。			
学習上の助言			
ファッションショー作品の製作課題です。リメイクの手法も取り入れて構いません。ファッションスタイリング科らしいオシャレ感の高いファッション提案をして下さい。			
教科書及び教材			
担当教員より、進行に伴い必要に応じて指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	企画デザイン1	コレクションの目的説明～何をやるべきかの理解を促す。	
2 7	企画デザイン2	各自のデザイン製作～個別指導、技術相談	
8	企画デザイン3	クラス内での企画内容プレゼンテーション	
9	製作相談	使用素材や製作方法についての個別相談	
11~	裁断 縫製	各自作業	
20	途中段階でのチェック	進行状況の確認	
29	完成チェック	企画・製作意図及び完成度をチェックする。	
30	終了レポート提出	次回の課題に生かす為、行ってきた事と反省をレポートにまとめる	
成績評価の目安と方法			
企画段階50点・製作段階50点の合計点で評価（評価ポイント知識・技術の習得、授業姿勢、作品のクオリティ）			
評価	成績評価別の到達度		
A	時代感を感じさせ、且つ個性的なファッションを生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
B	個性的なファッションを生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
C	授業に参加し、個性的なファッションを生み出すことができた。		
D	授業に参加し、ファッションを生み出すことができた。		



2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリストワーク3		片桐 芳子・小倉 展伸・鈴木 あかり	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科2年	4
授業概要			
学園祭で発表する卒業作品の製作課題です。デザインから縫製まで自ら行います。前半の8回は企画デザイン、その後の22回はパターン、縫製等の製作の時間として使います。			
学習到達目標			
トータルコーディネートでプランニングした作品を製作し、出来上がった作品のポイントを説明できることを目標とする。			
学習上の助言			
学園祭で発表する卒業作品の製作課題です。リメイクの手法も取り入れて構いません。ファッションスタイリング科らしいオシャレ感の高いファッション提案をして下さい。			
教科書及び教材			
担当教員より、進行に伴い必要に応じて指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	企画デザイン1	卒業記念コレクションの目的説明～何をやるべきかの理解を促す	
27	企画デザイン2	各自のデザイン製作～個別指導、技術相談	
8	企画デザイン3	クラス内での企画内容プレゼンテーション	
9	製作相談	使用素材や製作方法についての個別相談	
11~	裁断 縫製	各自作業	
20	途中段階でのチェック	進行状況の確認	
29	完成チェック	企画・製作意図及び完成度をチェックする。	
30	終了レポート提出	今年度のまとめとして、行ってきた事と反省をレポートにまとめる	
成績評価の目安と方法			
企画段階50点・製作段階50点の合計点で評価（評価ポイント知識・技術の習得、授業姿勢、作品のクオリティ）			
評価	成績評価別の到達度		
A	時代感を感じさせ、且つ個性的なファッションを生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
B	個性的なファッションを生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
C	授業に参加し、個性的なファッションを生み出すことができた。		
D	授業に参加し、ファッションを生み出すことができた。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションコーディネート2		岩崎 清美・本間 昭子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義	ファッションスタイリング科2年	2
授業概要			
撮影実習から学ぶスタイリングとヘアメイクの相乗効果を考えるファッションコーディネート			
学習到達目標			
スタイリング：全身トータルでファッションの提案アドバイスができる ヘアメイク：目的にあったイメージ力と施術			
学習上の助言			
スタイリング：ファッションは楽しくをモットーに、質問は沢山してください。 ヘアメイク：イメージ体現への施術方法			
教科書及び教材			
ファッションラボ、ファッション雑誌、インテリア雑誌他印刷物、はさみ、カッターナイフ、のり、定規、スケッチブック、必要に応じた文房具、ヘアメイクアップ式（ヘアメイク）			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ヘアメイクアップ説明	「トータルコーディネートにおけるヘアメイクアップ」説明 ヘアメイクアップ用品 説明	
2	「トータルコーディネート」説明	TPO、イメージシステムを考える 撮影コンセプト、テーマ説明 グループ分け	
3	撮影実習用個人プラン作成	コンセプトに合わせヘアメイクアップを個々に作成 *インターネットや雑誌などからプランを考えても可	
4	「トータルコーディネート」実習	体型別、タイプ別コーディネート 体型別コーディネートチェック	
5	撮影実習用	プランで出たヘアメイクアップを作ってみる *用具等足りないものはないのか？確認する	
6	「トータルコーディネート」実習プラン	「トータルコーディネート」実習プランの作成	
7	撮影実習用	撮影実習用ヘアメイクアップ練習	
8	「トータルコーディネート」実習	衣装コーディネートコーディネートチェック	
9	撮影実習	撮影実習 ヘアメイクアップ 実習	
10	撮影実習	セッティング、撮影	
11	撮影実習まとめ	ヘアメイクアップについて	
12	撮影実習まとめ	写真プリント配付 コーディネイトマップ制作 プレゼン会議	
13	「トータルコーディネートヘアメイク」まとめ	「トータルコーディネートヘアメイク」まとめ	
14	プレゼンテーション	グループ・プレゼン まとめ	
15	撮影実習	個人 ヘアメイク	
16	撮影実習	個人 スタイリング・撮影	
成績評価の目安と方法			
スタイリング：授業態度、制作物に取り組む姿勢、トータルファッションの修得。 ヘアメイク：課題によるヘアメイクのイメージ力とその知識の修得30点、受講姿勢5点。			
評価	成績評価別の到達度		
A	80%以上出席、課題の仕上がり状態が優良または良、それぞれのファッション・ヘアメイクイメージを修得できた。		
B	60%以上出席、課題の仕上がり状態が良、それぞれのファッション・ヘアメイクイメージを修得できた。		
C	60%以上出席、課題の仕上がり状態が可、それぞれのファッション・ヘアメイクイメージを修得できた。		
D	60%以上出席、課題の仕上がり状態が可または未提出、それぞれのファッション、ヘアメイクイメージの不修得。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
イベントプロデュース2		クラス担任	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科2年	3
授業概要			
学園祭やハロウィンパーティーなどの準備から実施まで行います。学生間で協議し行事を運営していきます。2年生では下級生を指導する機会もあります。			
学習到達目標			
社会人基礎力を養う授業です。履修目的を理解して受講してください。			
学習上の助言			
組織で目標達成ができるように、自発的に考え物事を進めてください。また、問題に直面した際は仲間や担当教員と相談し、適切な対応ができるようにしてください。			
教科書及び教材			
その都度、必要なものは指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	【新入生歓迎会】		
2		学生間の親睦をはかるイベントです。先輩達やクラス内で交流をはかってください。	
3	【体育祭】		
4		併設校と合同で行う体育祭です。楽しみながら規律ある行動が必要です。	
5	【ハロウィンパーティー】		
6		レクリエーションのイベントです。アイデアを凝らしたスタイリングをしてください。	
7	【学園祭】		
8		1年間の集大成となる学科の展示を行います。全員で協力し、成功させてください。	
成績評価の目安と方法			
社会人基礎力を基にした評価を行います。			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力は十分身につつき模範的行動ができるレベルである。		
B	社会人基礎力はを意識して行動できるレベルである。		
C	社会人基礎力は身につつつあるがまだ不十分な面がある。		
D	授業への参加状況が悪く社会人基礎力が未熟である。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリングマップ2		岩崎 清美	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	講義	ファッションスタイリング科2年	2
授業概要			
Styling Map ファッションスタイリスト プレイヤー検定に則り、人を理論的に分析・分類し、情報を可視化し表現する			
学習到達目標			
いろいろな人に合った客観的で明確なスタイリング提案ができる			
学習上の助言			
自らも分析し、楽しんで質問も沢山してください			
教科書及び教材			
F.S.A Styling Map ファッションスタイリスト プレイヤー検定テキスト、雑誌、ハガミ、のり、色鉛筆			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	Styling Mapとは	4つのスタイリング・キーワード 色の基礎知識（色の三属性）物の色	
2	色の基礎知識	似合う色	
3	カラー分析	人の色の分析・分類	
4	カラー分析	人の色の分析・分類	
5	形の分析	形の分析	
6	人の形	人の形の分析・分類	
7	人の素材	人の素材の分析・分類	
8	人の分析（相モデル）	アイテムの分類	
9	人のトータル分析	物	
10	トータル分析①	人・物	
11	トータル分析②	人・物	
12	トータル分析③	人・物	
13	確認テスト	まとめ	
14	確認テスト	まとめ	
15	確認テスト	まとめ	
成績評価の目安と方法			
授業態度、提出物、出席率、テスト結果			
評価	成績評価別の到達度		
A	80%以上出席、課題の仕上がり状態が優良、Styling Mapの提案を修得できた。		
B	60%以上出席、課題の仕上がり状態が良、Styling Mapの提案を修得できた。		
C	60%以上出席、課題の仕上がり状態が可、Styling Mapの提案を修得できた。		
D	60%以上出席、課題の仕上がり状態が可又は未提出、Styling Mapの提案の不修得。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
フォーマルスペシャリスト		松山 由未	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	講義	ファッションスタイリング科2年	2
授業概要			
フォーマルスペシャリスト準2級（ブロンズライセンス）認定試験対策講座			
学習到達目標			
フォーマルシーンでのルール、マナーを学び、幅広い知識の修得とフォーマルウェアライセンスの取得			
学習上の助言			
ライセンス取得の意義に留まらず、人生の様々な場面に於いて役立つ知識です。 ブライダル等、活動の幅も広がるでしょう。			
教科書及び教材			
フォーマルウェアルールブック、3色ボールペン、付箋紙、他必要に応じて授業内で告知			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業進行、評価基準、フォーマルウェア概要	
2	フォーマルの定義	プロトコル、T・P・O、オケージョン	
3	フォーマルライフスタイル	シーンとセレモニー、国際儀礼	
4	フォーマルの歴史	17世紀ヨーロッパから20世紀日本	
5	正礼装1	昼の正礼装	
6	正礼装2	夜の正礼装	
7	昼のフォーマルシーン1	正礼装、準礼装、略礼装	
8	夜のフォーマルシーン1	正礼装、準礼装、略礼装	
9	ブライダルフォーマルシーン	正礼装、準礼装、略礼装	
10	弔事のフォーマルシーン	正喪服、準喪服、略喪服	
11	和装	和装と洋装	
12	昼のフォーマルシーン2		
13	夜のフォーマルシーン2		
14	フォーマルウェアメニュー	アイテムとアクセサリ	
15	まとめ		
成績評価の目安と方法			
正しい知識の修得、受講姿勢、認定試験結果を総合的に評価。 受講回数が2/3未満の場合もしくは理解不足と考えられる場合、再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	フォーマルシーンのルールを積極的に学び、知識を修得、認定試験に高得点で合格している		
B	フォーマルシーンのルールを積極的に学び、知識を修得、認定試験に合格している		
C	フォーマルシーンの知識を学び、理解している		
D	フォーマルシーンの知識を学んだが理解が不足している、受講状況に問題がある		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ヘアメイク2		本間 昭子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	実習	ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
ヘアスタイリングとメイクアップの応用技術実習			
学習到達目標			
ヘアスタイリングとメイクアップの応用技術を修得する。			
学習上の助言			
イメージ体現にはどのような技術・施術が必要とされるのか、多くの追及を具体化しましょう。			
教科書及び教材			
【各自持参物品】メイク用筆類、タオル2本、ヘアスタイリング及びメイクアップ用品 【共同使用学内物品】ヘアメイク用品一式			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	応用編ヘアメイクメイク概論	ヘアアレンジメント、骨格を考える①	
2	ヘアメイク実習	骨格を考える②、【応用編ヘアメイク：ハイライトとシェーディング】実習	
3	ヘアメイク実習	【目的別ヘアメイク：老い顔】実習、【目的別ヘアメイク：良い顔・悪い顔】コラージュ	
4	ヘアメイク実習	【目的別ヘアメイク：悪い顔】実習、【目的別ヘアメイク：'40'50'60】コラージュ	
5	ヘアメイク実習	【目的別ヘアメイク：'40'50'60】実習、【目的別ヘアメイク：'70】コラージュ	
6	ヘアメイク実習	【目的別ヘアメイク：'70】実習、【目的別ヘアメイク：'80'90】コラージュ	
7	ヘアメイク実習	【目的別ヘアメイク：'80'90】実習、【目的別ヘアメイク：ブライダル】コラージュ	
8	ヘアメイク実習	【目的別ヘアメイク：ブライダル】実習、【目的別ヘアメイク：キャラクター】コラージュ	
成績評価の目安と方法			
知識、技術、受講姿勢を総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	80%以上出席、ヘアスタイリング及びメイクアップ応用技術を修得できた。		
B	60%以上出席、ヘアスタイリング及びメイクアップ応用技術を大まかに修得できた。		
C	60%以上出席、ヘアスタイリング及びメイクアップ応用技術を部分的に修得できた。		
D	60%未満出席、ヘアスタイリング及びメイクアップ応用技術の不修得。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタジオワーク		岸本 咲子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	実習	ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
一眼レフカメラを用い、ロケ撮影とスタジオ撮影の両方を行います。基本的な撮影技術や写真知識を修得することで、スタイリングに合った写真表現ができるようになることを目指しています。			
学習到達目標			
カメラや撮影機材の操作方法と基本的な撮影技術を習得し、自身でプランニングしたコーディネート作品を適切な写真表現で撮影できることを目標とする。			
学習上の助言			
1回ずつの授業で段階的に技術を修得していきますので、欠席遅刻に気をつけてください。			
教科書及び教材			
自分が好きな写真や撮ってみたいと思う雰囲気の写真（雑誌・広告・フライヤー・カバーフォトなど）を参考資料として持参してください。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	撮影技術①	基本的な一眼レフでの撮影方法（露出の仕組みやカメラモード）を学びます。	
2	撮影技術②	一眼レフでの撮影方法の理解を深め、また自然光の撮影でライティングの基本を学びます。	
3	スタジオ撮影①	スタジオでの動きや機材に慣れ、スタジオでの撮影方法を実践的に学びます。	
4	スタジオ撮影②	様々なスタジオライティングを実践的に学びます。	
5	作品制作①	作品撮影のプランニング、撮影日の段取りや計画等を行います。	
6	作品制作②	チームに分かれて、ロケとスタジオで一人1点ずつ作品を撮影します。	
7	作品制作③	チームに分かれて、ロケとスタジオで一人1点ずつ作品を撮影します。	
8	出力・講評	PCへの取り込みや編集を行い、作品を出力します。	
成績評価の目安と方法			
技術・知識の修得度と、それらが作品へ適切に反映されているかを総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	意欲的に技術を修得し、意図に適した写真表現がなされ、完成度の高い作品が制作できた。		
B	技術を修得し、意図に適した写真表現がなされ、良い作品を制作できた。		
C	チームの助けを得て、良い作品を制作できた。		
D	十分な技術修得ができなかった、作品を提出できなかった、など。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションビジネス3		奈良 将之	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	講義	ファッションスタイリング科2年	2
授業概要			
<p>ファッションビジネス検定2級合格を目指します。            また、進歩・変革し続け、絶えざる創造を必要とするファッションビジネスの世界で活躍する際に必要となる専門的な知識を身につけ、将来活躍するアパレル企業・業界にて活躍出来るように備えます。</p>			
学習到達目標			
ファッション業界に必要な基礎用語や知識の習得、FB検定2級取得			
学習上の助言			
アパレル業界で即戦力として幅広く活躍出来るように知識を身につけましょう。			
教科書及び教材			
<p>ファッションビジネス能力検定試験2級準拠            ファッション辞典 服地がわかる事典</p>			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ファッション文化・デザイン文化	ファッション文化とデザイン文化 ファッション・コーディネート	
2	ファッション商品知識	アパレル商品部門・服種・アイテム シルエット、ディテール	
3	ファッション商品知識	服種雑貨の商品知識 素材の専門知識 副資材の知識	
4	ファッション商品知識	シルエット・ディテール 服飾雑貨の商品知識	
5	パターンメイキング	ファッション・エンジニアリング	
6	アパレル生産と物流	アパレル生産管理、品質管理 アパレル物流 QRの基礎知識	
7	ファッション流通1	アパレル流通戦略 アパレル、小売、SCの取引特性	
8	ファッション流通2	アパレル営業とチャネル管理 模擬問題 解答解説	
9	販売管理とプロモーション1	アパレル流通戦略 アパレル、小売、SCの取引特性	
10	販売管理とプロモーション2	アパレル営業とチャネル管理 模擬問題 解答解説	
11	キャリアプラン	職種別業務内容 自己啓発と自己管理	
12	ビジネス基礎知識1	マネジメント基礎知識 計数管理1	
13	ビジネス基礎知識2	計数管理2 模擬問題 解答解説	
14	模擬試験	ファッション・ビジネスの特性～ビジネス基礎知識までの模擬試験	
15	模擬試験 解答・解説	解答と解説	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、出席率、ファッションビジネス能力検定2級試験結果を総合的に評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	ファッションビジネス、造形とも2級の知識を十分に身につけている。		
B	ファッションビジネス、造形とも2級の知識をおおまかに身につけている。		
C	ファッションビジネス、造形とも2級の知識を最低限身につけている。		
D	特定の知識習得が出来ていない。		



2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションマーケティング		小西 広実	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	講義	ファッションスタイリング科2年	2
授業概要			
現在のファッション業界やアパレル産業の仕組み、消費者ニーズに基づく製品企画、価格やマーチャンダイジング構築、小売店の運営や販売等の流通戦略、販売促進計画などについて学ぶ。また衣料品領域以外にも拡大していくファッションマーケティングの現況についても、身近な事例や自らの業務経験を交えて概説します。			
学習到達目標			
実務上で応用が利くマーケティングの基礎知識を幅広く習得することが目標です。			
学習上の助言			
自分の生活環境や行動を振り返りつつ知識を身につけましょう。			
教科書及び教材			
テキストは使用しない。必要に応じてプリントを配布します。また適宜参考文献等を紹介します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業の概要を理解する	
2	マーケティング概要	マーケティングとは、マーケティングの必要性とは	
3	マーケティング用語について	4P、ベネフィット、差別化、セグメンテーション	
4	生活者について	買い物行動について	
5	企業比較	身近で同じカテゴリーの企業を比較する	
6	商品比較	身近で同じカテゴリーの商品を比較する	
7	SWOT分析	マーケティング課題を発見する	
8	SWOT分析	マーケティング課題を発見する	
9	ブランドについて	「ブランド」はなぜ必要か	
10	マーケティングリサーチ	フィールドワークの方法	
11	企画書	企画書の作成、企画内容発表	
12	企画書に関わるデザインとアプローチ	各自企画書に基づいて消費者へのアプローチ方法をまとめる	
13	プレゼンテーション方法	プレゼンテーションの組み立て方、テクニック	
14	プレゼンテーション	各自プレゼンテーション、評価を行う	
15	まとめ	全体のまとめ 最終課題提出	
成績評価の目安と方法			
各回での課題、授業態度、最終プレゼンで総合的に評価を行います。 授業実施回数2/3以上の出席を要する。			
評価	成績評価別の到達度		
A	ファッションマーケティングの基礎知識を十分に理解した		
B	ファッションマーケティングの基礎知識を良く理解した		
C	ファッションマーケティングの基礎知識を理解した		
D	単位認定不可		

## 2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ショップマネジメント2		小倉 展伸	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	実習	ファッションスタイリング科2年	3
授業概要			
<p>期間限定ショップの準備から実施まで行う授業です。前年度の振り返りから課題を見つけ、今年度の自分たちの目標を設定し、それに向けての施策を計画し、実行していきます。</p>			
学習到達目標			
<p>仕事をする上で必要な、組織として目標達成のために自分自身に何ができるかを考え、行動する力を身につけます。</p>			
学習上の助言			
<p>行事ではなくPDCAの実践の授業です。問題に直面することが多くありますが、考え行動し、物事を前に進めていく力を身につけてください。</p>			
教科書及び教材			
<p>設定した目的達成のために、学内備品または各自が使えるものすべてを有効に使ってください。</p>			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1~4	目標設定	組織の説明・今年度の目標設定・組織の各ポジション希望調査の実施。	
5	運営ポジションの決定	希望を踏まえて各ポジションの発表を行います。	
6	施策設定	各ポジションごとに全体の目標に向けて具体的な施策案を考えます。	
7	施策発表・計画会議	各ポジションごとに具体的な施策案を発表し、さらなる施策の検討を進めます。	
8	施策発表・中間報告会①	ポジションごとに施策案の事前の最終報告を行います。	
9~10	施策実行（進捗確認）	PDCAサイクルに基づき、施策実行し問題解決にむけ行動します。（朝礼・終礼を行い進捗確認をおこなう。）	
11	中間報告会②	オープン前の最終会議を行います。	
12	前日準備	オープン準備。商品・備品・什器の搬入。店内レイアウト等を全て整えます。	
13~15	販売活動①	各担当日ごとに運営します。	
16	検証会議	オープン後、数日経過したところで出てきた問題点や成果を検証し、修正を行います。	
17~19	販売活動②	検証会議を踏まえて販売活動を行います。	
20	撤収作業	商品、備品類の撤収準備から撤収作業。作品返却・返品作業	
21	ポジション反省会	各ポジションごとに反省会の実施。	
22	最終結果報告会	今回参加した学生全員が参加しての最終結果報告会の実施。	
23	評価	総括レポートの作成。教員からの評価。	
成績評価の目安と方法			
<p>授業内で説明するルーブリックに沿って評価します。</p>			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力と販売能力が十分に身につく模範的行動ができるレベルである。		
B	社会人基礎力と販売能力が十分に身につく行動できるレベルである。		
C	社会人基礎力と販売能力が十分に身につくつつあるが不十分な部分もある。		
D	社会人基礎力と販売能力の習得はまだ未熟で発展途上である。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
VMD		深海 美香	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	実習	ファッションスタイリング科2年	3
授業概要			
ファッションビジネスで重要視されているビジュアルマーチャンダイジングを講義と実習で学びます。			
学習到達目標			
売り場のつくりかた、商品陳列の理解、専門用語理解			
学習上の助言			
ビジュアルマーチャンダイジングを身近に感じ理解を深めて、売り場づくりの感性を育ててください。			
教科書及び教材			
教科書、配布テキスト			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	VMDとは	座学/授業内容について、VMDとは	
2	MDとは	座学/MDとは 実習/フォールデッド	
3	SDとは	座学/SDとは 実習/ハンギング	
4	MPとは	座学/MPとは 実習/ウェアリング	
5	色・照明 / 用語テスト	座学/色・照明 用語テスト/実施・回答・解説	
6	構成	座学/構成 実習/構成の演習	
7	VMDリサーチ 1	実習/VMDリサーチの作成	
8	VMDリサーチ 2	実習/VMDリサーチの発表	
9	VMDプラン 1	実習/VMDプランの作成	
10	VMDプラン 2	実習/VMDプランの発表	
11	ラッピング	実習/ラッピングの演習	
12	総合テスト	総合テスト/実施・回答・解説	
成績評価の目安と方法			
課題(提出状況・仕上がり)、授業内容の理解力(テスト結果)、授業態度			
評価	成績評価別の到達度		
A	課題、テスト、授業態度の合計 80点以上		
B	課題、テスト、授業態度の合計 70点以上		
C	課題、テスト、授業態度の合計 60点以上		
D	課題、テスト、授業態度の合計 59点以下		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリストトレーニング2		指導担当スタイリスト	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	ファッションスタイリング科2年	2
授業概要			
スタイリストのインターンシップです。スタイリストトレーニング1で学んだことを生かして現場経験を積みます。また、この機会を通して卒業後に師事していくスタイリストの選択に役立てます。			
学習到達目標			
アシスタントレベルで必要とされる仕事内容の習得を目指します。			
学習上の助言			
授業で習ってきたこと以外に社会人基礎力、礼節が必要です。現場では指導担当スタイリスト以外にその現場のクライアントさんやタレントさん等いらっしゃいますので、特に礼節には注意してください。			
教科書及び教材			
実習報告書			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	参加する上での注意事項、情報の取り扱いについて、必要書類の記入方法。	
2	インターンシップ実施 開始	派遣先スタイリストの元でインターンシップを実施。	
3		メイクチェック・カメラチェック	
4			
5			
6			
7		【主な作業内容】	
8		撮影の同行、スタイリング、アイロンがけ、裾まつり、タグの管理、	
9		ピックアップ及び返却業務 等	
10			
11			
12			
13	インターンシップ実施 終了		
14	実習報告書記入	実習報告書を記入し、学内担当者へ提出。	
15	まとめ	インターンシップ終了報告会	
成績評価の目安と方法			
指導担当スタイリストによる 総合評価			
【評価項目 勤務態度 積極性 探究心 対人関係 理解力 行動力 責任感 所見】			
評価	成績評価別の到達度		
A	指導担当スタイリストによる総合評価がA取得であり、評価項目も全てAである。		
B	指導担当スタイリストによる総合評価がA取得であるが、評価項目にB評価を含んでいる。		
C	指導担当スタイリストによる総合評価がB取得である。		
D	指導担当スタイリストによる総合評価がC取得である。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレルインターンシップ		企業担当者・小西 広実	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	ファッションスタイリング科2年	2
授業概要			
ファッションアドバイザーのインターンシップです。販売実務と店舗での付帯業務等の現場経験を積み ます。学校での学びの成果と不足部分の確認をし、今後の学習に役立てます。			
学習到達目標			
新入社員レベルで必要とされる社会人基礎力やスキルの習得を目指します。			
学習上の助言			
社会人としての行動が求められる場です。入学から現在までに学習してきたことを生かせる様、のぞんで ください。			
教科書及び教材			
実習報告書			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	参加する上での注意事項、必要書類の記入方法。	
2	事前指導	受け入れ先企業の情報を収集し、基礎知識を蓄える。	
3	インターンシップ実施 開始	派遣企業でインターンシップを実施	
}			
13	インターンシップ実施 終了	派遣企業でインターンシップを実施	
14	実習報告書記入	実習報告書を記入し、学内担当者へ提出。	
15	まとめ	インターンシップ終了報告会	
成績評価の目安と方法			
企業側担当者による 総合評価 【評価項目 勤務態度 積極性 探究心 対人関係 理解力 行動力 責任感 所見】			
評価	成績評価別の到達度		
A	企業担当者による総合評価がA取得であり、評価項目も全てAである。		
B	企業担当者による総合評価がA取得であるが、評価項目にB評価を含んでいる。		
C	企業担当者による総合評価がB取得である。		
D	企業担当者による総合評価がC取得である。		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ネイルアート		岩崎 清美	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
ネイルアートを修得し、指先までのトータルファッションの提案・表現の構築			
学習到達目標			
ネイルアートを修得し、トータルファッションの提案・表現の修得			
学習上の助言			
技術を楽しく学び、自由な発想で個性を表現してください。			
教科書及び教材			
エタノール、ファイル、キッチンペーパー、コットン、キューティクルニッパー、キューティクルオイル、ウッドステック、クリーム、スポーツタオル、ハンドタオル 他			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	爪の名称	ファイリング（長さ、形、表面磨き）	
2	ハンドマッサージ	キューティクルクリーン（甘皮ケア）	
3	ネイルカラー	（1色塗り）	
4	ネイルカラー	アート（ジェム、フレンチ）	
5	ネイルカラー	（ファン、ピーコック、マーブル、アクリル）	
6	チップ	デザイン画	
7	チップ制作	チップ制作	
8	チップ制作	チップ制作	
成績評価の目安と方法			
授業態度、出席率、制作提出物			
評価	成績評価別の到達度		
A	ファッションに合わせた発想豊かなネイルアートの提案ができる		
B	ファッションに合わせたネイルアートの提案ができる		
C	ファッションにあわせたネイルアートの理解ができた		
D	制作、提出物が無く、ネイルアートに対しての理解が部分的にできた		

2019年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ヘアメイクスタッフ1		本間 昭子	
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
特別実習	実習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
『incubate collection』のヘアメイクスタッフとなり、モデルのヘアスタイリングとメイクアップを行う授業です。作品ごとのプランニング、練習、各チェックごとの修正を経て、本番にのぞみます。			
学習到達目標			
作品のイメージを理解したヘアメイクのプランニングと実施をし、トータルコーディネートの審美眼を養います。			
学習上の助言			
ヘアメイクの技術だけでなくコレクションを成功させるための意欲と行動が必要です。学生間の協力や協調性が重要になりますので意識してのぞんでください。			
教科書及び教材			
【各自持参物品】メイク用筆類、タオル2本、ヘアスタイリング及びメイクアップ用品 【共同使用学内物品】ヘアメイク用品一式			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	イメージ理解	作品のイメージを理解し、ヘアメイクのプランを組み立てます。	
2	練習	ヘアメイクのプランを実際に行います。	
3	練習	メイクプランを実際に行います。	
4	練習	メイクプランを実際に行います。	
5	スタイリングチェック	実際のモデル、服でヘアメイクを行います。(スタイリングチェック準備)	
6	スタイリングチェック	服、ヘア、メイクをトータルバランスでチェックします。	
7	修正作業	トータルバランスでチェックした後に、修正箇所を手直しします。	
8	最終チェック	修正箇所を手直しした後に、再度トータルバランスでチェックします。(準備・完成確認)	
成績評価の目安と方法			
受講姿勢、作品イメージの理解力、ヘアメイクの技術力、責任感、協調性を総合的に評価する。			
評価	成績評価別の到達度		
A	コレクションの成功に向けて意欲的に取り組み、担当作品が映えるヘアメイクを完成させた。		
B	コレクションの成功に向けて意欲的に取り組み、担当作品のヘアメイクを完成させた。		
C	担当作品のヘアメイクを完成させた。		
D	担当作品のヘアメイクを完成させられなかった。		